事務事業名	地垣	<b>越振興</b> 事	務事	業 三国					事業コード	02010150101	
所管部署	地垣	<b>城振興</b> 認	果(三	国支所)		電話	82-8900		記入者名	刀根 進矢	
事業対象	地垣	域自治区	区内市	民							
60 A =1 -	基本	構想	住民	とともに育	育むまちづくり				事業区分 自治事務(任意的なもの)		
総合計画	基本	画信z	住民と行政の協働によるまちづくりの推進					事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	市 実施手段 業務の一部を委託					委託内容	大会企画、	運営全般		
根拠法令	無										
根拠例規	有	坂井市総	8務部まっ	ちづくり推進課所	f管補助金交付要綱						
関連計画・ マニュアル	無										
	地域自治区の区域に係ることや各総合支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進する。										

◆地域振興事務事業 各自治区地域協議会に関する経費や地域振興費

〇負担金、補助及び交付金

· 地域自治区体育祭補助金 三国町民体育祭等事業費補助金

1,700千円

・スポーツ大会補助金 三国町地区対抗小学生スポーツ大会事業費補助金 800千円

•三国節保存伝承事業費補助金 1,935千円

予算	Ī	款	総務費				項	総務管理	費		目	一般管理	費		
				平原	戊25年度			平成	24年度	平成	23年度	Ę	平原	<b>戈22年</b> 度	Ę
		報酬	+			千円			千円			千円			千円
		委訊	£費			千円			800 千円			千円			千円
	事業費	需用	費			85 千円			96 千円			千円			千円
_	費	役務	務費			千円			千円			千円			千円
ス		その	)他		4,	672 千円			4, 235 千円			千円			千円
۲		事業	養合計		4,	757 千円			5, 131 千円			千円			千円
	人	正聙	战員	1.00 人	. 7,	109 千円		1.90 人	13,507 千円	人		千円	J		千円
	件費	臨時	<b>持職員</b>	0.00 ㅅ		千円		0.00 人	千円	人		千円	J		千円
	費	人件	‡費合計	1.00 ㅅ	. 7,	109 千円		1.90 人	13,507 千円	J		千円	J		千円
	総事	事業費	}		11,	866 千円			18,638 千円			千円			千円
		国県	支出金			千円			千円			千円			千円
	特	使用	料·手数料			千円			千円			千円			千円
事	特定財源	分担	金·負担金			千円			千円			千円			千円
事業費	源	地方	債			千円			千円			千円			千円
Ą		その	)他			千円			千円			千円			千円
	— 舟	<b>殳財源</b>	į		11,	866 千円		·	18,638 千円		·	千円		·	千円
	財派	原合計	-		11,	866 千円			18, 638 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
月	事業参加者増加率 (H22=100%)	%	目標値	110	達成率	110	達成率	105	達成率	100	達成率
集		70	実績値	117	106. 36	70	63.64	115	109. 52	-	
泪	三国節保存伝承事業参加者	,	目標値	3500	達成率	3330	達成率	3000	達成率	2600	達成率
重			実績値	3820	109. 14	3900	117. 12	3780	126	2820	108. 46
注重   注	三国町民体育祭参加者	ı	目標値	4000	達成率	4000	達成率	4000	達成率	4000	達成率
記載		^	実績値	3000	75	0	0	3000	75	2896	72. 4
<b>注</b>	三国町地区対抗小学生スポーツ大会参加者	1	目標値	700	達成率	700	達成率	700	達成率	700	達成率
三三三		_ ^	実績値	685	97. 86	590	84. 29	589	84. 14	687	98. 14
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	それぞれの事業について、対象経費と対象外経費の精査および経費削減の方法を検討する必要があると考えます。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	いずれの事業も、地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して実施することが望ましい事業です。制度等を見直し、市の事業として平 等性のある体制に改善していく必要があると考えます。
取組	目標年度 平成30 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	С	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
価	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	А	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
	判理断由	長年にわたり地域	に根差した事	業として、今後も地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために、継続して9	<b>ミ施することが</b> 望	ましいと考えます。	
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安
	判理断由	いずれの事業も地	域のニーズか	『非常に高いことから、通年通り継続していくことが望ましいと考えます。ただし、今後も事業主体へ	への移管も視野に	入れながら事業を進めて	こいきます。
		コスト投入の方向	1性	事業費の縮小を検討します。	目標年度	平成28	年度を目安
所	判理断由	交付基準などを精	査し明確化し	たうえで、事業費の適正化をはかる必要があると考えます。			
馬長		人員投入の方[	句性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	最低限の人員で事	務業務を行っ	ているため、現状維持に努めることが望ましいと考えます。			
	すぐに	できる改善提案	それぞれの	事業について、対象経費と対象外経費の精査および経費削減の方法を検討する必要があると考えます	0		
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	いずれの事 協議を進め	業も地域市民が一体となってコミュニティの形成、醸成に取り組むために継続して実施することが望 ていきます。	ましい事業です。	。今後は歳入の増加策が	ないか、事業主体と
	目標年	度 平成30 年度					

事務	事務事業名 松くい虫防除事業 三国										事業コード	06020200101			
所管	部署	地均	或振興認	₹ (三	.国支所)		·	電話	82-8904		記入者名	齊藤 紀之			
事業	対象		三国町 <i>の</i> て実施し			<b>公園区域内の</b> 海	海岸区域	内、	自然公園	区域内、	及び公共の利	川益に資する等地域の重要な松林に対			
<i>4</i> 0. A	-1	基本	<b>本構想</b>	地域	はの活力を創	削造するまちつ	づくり				事業区分	自治事務 (任意的なもの)			
総台	を計画 基本計画 林業の振興 は、									事業種別	ソフト事業				
実施										被害調査事業、地上薬剤散布、特別伐倒駆除、樹幹注入					
根拠	l法令	無													
根拠	l例規	無													
	計画・	有	松くい虫	被害総合	合対策事業、松く	い虫被害特別対策事	事業								
事業の目的・事業の概要等	○無月○季言	月消毛松 エ月設才費耗 く被地地特特樹樹事及計費	品 い害上上別別幹幹積な積 虫調散散伐伐注注算賃シ 被査布布倒倒記入シニシーシー	総県県市除除査秋テ料テ合単単単(((期ム・ムウ)が、また。	村 第	9. 10. 県3/4) 15 - 2 県1/4) 3,30	17, 932千 一式 . 5ha . 0ha -式 59m3 一式	Ħ							

-	予算	: ;	款	農林水産業費	貴			項	林業費	ŧ				目	林業振興	費		
						平成2	25年度		3	平成244	丰度		平成2	23年度		平月	成22年)	度
			報酬	H			7	-円			千日	円			千円			千円
			委詞	<b></b>			18, 038 =	-円			22, 260 <del>1</del> 1	円			千円	Ŧ		千円
		事業	需月	用費			38 ∓	-円			40 ∓⊩	円			千円			千円
1	- l	事業費	役科	务費			4	-円			千日	円			千円			千円
- 2	ス		その	の他	246 千円		円	277 千円			円						千円	
<b>=</b>	۲ [		事	<b>業費合計</b>			18, 322 =	-円			22, 577 <del>+</del> 1	円			千円			千円
争 業		人	正罪	<b></b>	1.	76 人	12, 512 =	円	0. 50	人	3, 555 ∓⊩	円	人		千円	ر	(	千円
【事業のコスト】	単	件 費	臨	寺職員	0. (	00 人	7	円	0.00	人	Ŧſ	円	人		千円	J		千円
スト		賀	人作	<b>牛費合計</b>	1.	76 人	12, 512 =	円	0.50	人	3, 554 ∓⊩	Ħ	人		千円	ر		千円
		総事	業費	Į			30, 834 =	円			26, 131 ∓	円			千円			千円
			国	表出金			10, 586 🖯	円			10, 712 <del>↑</del> F	円			千円			千円
		特	使月	]料·手数料			٦	円			千日	円			千円			千円
1	事 業 費	特定財源		金·負担金			₹	円			Ŧŀ	円			千円			千円
3	未 費		地	方債			₹	円			Ŧŀ	円			千円			千円
	^		その	D他			7	円			Ŧſ	Ħ			千円	千円 千		千円
		一般	財源	Į.			20, 248 =	円			15, 419 ∓	円			千円			千円
		財源	合言	t			30, 834 ∃	-円			26, 131 ∓	円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	<b>4</b> 年度	平成23	3年度	平成22	2年度
	成 地上散布	ha	目標値	19. 5	達成率	19. 5	達成率	19. 5	達成率	18. 8	達成率
	成 地上散布 果	ha	実績値	19. 5	100	19. 5	100	19. 5	100	18. 8	
	成 樹幹注入	m3	目標値	410	達成率	500	達成率	522	達成率	452	達成率
∓	果	IIIO	実績値	391	95. 37	493	98. 6	522	100	452	
争	活樹幹注入施工本数	本	目標値	580	達成率	700	達成率	641	達成率	858	達成率
の	活 樹幹注入施工本数 動	4	実績値	562	96. 9	696	99. 43	641	100	858	
業の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		1	実績値								

	すぐにできる 改善提案	被害の撲滅と予防を図り、また、他の事業(松林健全化、美しい森林景観・県単小規模)と連携をとりながら、越前海岸国定公園の維持に努めていきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に	取組状況	防除事業(地上散布・特別伐倒駆除・樹幹注入)の実施により、雄島地区の松林の被害は、面積比率にしますとここ数年かなり低水準となっています。過去の被害木の伐 採跡地には、植栽等を実施し緑の再生を図っています。
対 す	中長期的に取り組むべき 改善提案	松くい虫の被害対策については、今後も継続して実施していくことが、松林の保全対策につながると考えます。
る取組状況】	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	地上散布・樹幹注入の継続。特別伐倒駆除の徹底。抵抗性クロマツ等の植栽。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
킐	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安
	判理 断由	松くい虫の被害が	なくならなし	<b>い限り、継続して実施します。</b>			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安
	判理 断由	県と協議しながら	、今後とも導	<b>事業を実施していきます。</b>			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安
所	判理 断由	県の補助事業を有	効に活用し、	実施していきます。	·	·	
長		人員投入の方[	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	他の業務と兼任し	ながらの取り	り組みとなります。			
	すぐに	できる改善提案					
	目標年	度 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	松くい虫被	害対策については、今後も事業を継続していくことが、松林の保全対策につながると考えます。			
	目標年	度 年度					

事務	事業名	松材	<b>は健全化</b>	:促進	事業 三国	I				事業コード	06020200106
所管	曾部署	地垣	<b>拔振興</b> 課	三(三	国支所)		電話	€ 82-8904		記入者名	齊藤 紀之
事第	美対象		国町の けして実			定公園区域内の海岸	岸区♯	或内、自然	公園区均	或内、及び公井	<b>もの利益に資する等地域の重要な松林</b>
40. 4		基本	構想	地域	の活力を創	造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合計画 基本計画 林業の振興 事業種別 ソフト事業											
実施	実施主体 市 実施手段 市が直接実施 委託内容 抵抗性クロマツの植栽等										
根抄	见法令	無									
根拠	<b>心例規</b>	無									
	重計画・ ニュアル	有	松くい虫	被害総合	合対策事業						
			害により	森林資			住民	等による抵抗	亢性マツ <i>0</i>	D植栽等を実施し	ノ、健全な松林の維持再生を図る。
	〇委託		建全化促	進事業	480 <sup>.</sup> <b>美委託料</b>	千円					
事業の目的・事業の概要等	【補 【植 【植	業助栽栽業 名率場 数費 】	等】 3/ 所】 三 量】 16	4(負 国町9 0本(	と島~崎 抵抗性育種値	1/2・県 1/4) 直栽松 H=70cm) 力金 360千円)					

ſ	予算	<u> </u>	款	農林水産業績	費			項	林業費					目	林業振興	費			
						平成2	25年度		<u> </u>	成24	l年度		平成	23年度		平月	<b>式22</b> 生	F度	
			報酬	H			-	f円			=	千円			千円				千円
			委記	<b></b>			480 =	f円			480 =	千円			千円				千円
		事業	需月	用費			-	f円	千円			千円			千円			千円	
	_	事業費	役科	务費	Ŧſ		f円	千円			千円	千円						千円	
	ス		その	D他				f円			=	千円							千円
_	١- ا		事業	<b>業費合計</b>			480 =	f円			480 =	f円			千円				千円
事 業		人	正耶	餓員	0. 5	11 人	3, 626 <del>-</del>	f円	0.07	人	498 -	千円	人		千円	J	l,		千円
【事業のコスト】		人件費	臨	寺職員	0. 0	10 人	-	f円	0.00	人	=	千円	人		千円	J	l,		千円
スト		賀	人作	<b>牛費合計</b>	0. 5	11 人	3, 626 <del>-</del>	f円	0.07	人	498 =	刊	人		千円	J	l l		千円
		総事	事業費				4, 106 <del>-</del>	F円			978 -	刊			千円				千円
			国	表出金			360 <del>-</del>	F円			360 -	刊			千円				千円
		特	使用	]料·手数料			=	門			=	刊			千円				千円
	事 業 費	正財	分担	金·負担金			=	F円			=	刊			千円				千円
	耒 書	特定財源	地フ	5債			=	F円			=	刊			千円				千円
	^		その	の他			=	円			=	們			千円				千円
		一般	以財源	Į.			3, 746 =	円			618 =	們			千円				千円
		財源	合言	+			4, 106 <del>-</del>	f円			978 =	f円			千円		·		千円

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
	成 抵抗性松植栽事業費	тm	目標値	480	達成率	480	達成率	1000	達成率	500	達成率
	<b>R</b>	千円	実績値	480	100	480	100	1000	100	500	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
事業			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の			実績値								
業の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	国・県の助成を受け実施して行く事業であり、抵抗性松の植栽と併せ衰弱木、被害木、枯れ枝の処分が主な事業であり、今後の森林整備の下地となるため今後とも継続し ていきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	海岸防風林・防潮林、また以前のような緑の美しい景観の維持をすることを目的し、本年度は、安島地係3ヶ所に抵抗性クロマツの苗木の植栽を実施しました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	5年以上経過した箇所について調査し、適切な維持管理に取り組んでいきます。
る取組状況】	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	継続した抵抗性松の植栽

	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっています か?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安
	判理 断由	松くい虫の被害拡	大を防ぐため	りにも抵抗性松の植栽は有効と考えています。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安
	判理 断由	補助事業として対	象者が限られ	いているため。			
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安
所	判理 断由	国庫の補助率が高	く、今後とも	が継続していきます。			
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	他の業務と兼任し	て実施してい	います。			
	すぐに	こできる改善提案	国・県の助	成を受け、抵抗松の植栽に併せ被害木等の処分を継続していく事業で森林整備の基礎となるため、今	後とも継続して	実施していきます。	
	目標年	度 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	5年以上経過	<b>過した場所について調査し、適切な維持管理に取り組んでいきます。</b>			
	目標年	度 年度					

	事務	事業名	美し	い森材	景観	再生事業	三国				事業コード	06020	0210101	1
	所管	部署	地垣	<b>找振興</b> 誤	【三	国支所)		電話	舌 82-8904		記入者名	齊藤	紀之	
	事業	対象		三国町 <i>の</i> 対して実			定公園区域内の海岸	岸区均	域内、自然	公園区均	或内、及び公‡	もの利益	益に資する等地域の重要な松林	:
	<i>(</i> () A	-1	基本	構想	地域	の活力を創	造するまちづくり				事業区分	自治	事務(任意的なもの)	
	総合	総合計画 基本計画 林業の振興 事業種別 ソフト事業											ト事業	
	実施	施主体 市 実施手段 業務の全部を委託 委託内容									1マツ等の植栽、森林	の整備等		
	根拠	法令	無											
	根拠	例規	有	美しい森	林景観評	<b>再生事業実施要領</b>	ĺ							
		計画・ ュアル	無											
【事業の概要】				森林病害 木の除去			能が低下している森林	の機	能回復や美し	<b>い森林</b> 0	0再生を図るため	)、花木	などの広葉樹等の植栽や景観を阻	
概要】		O委託 •		ハ森林景	:観再生	1,0 生事業委託料	00千円							
	事業の目的・事業の概要等	【補 【植 【植	業名】 等 財 裁 数 費 】	等】 9/ 新】 三 量】 10	10(負 国町安 10本(	え島 うち抵抗性音	事業 9/10、市1/10) 育種植栽松 76本) 輔助金 900千円)							

	予算	<u> </u>	款	農林水産業費	ŧ			項	林業費					目	林業振興	費			
					平	或25年	度		平	成24年	F.度		平成	23年度		平	成22年	年度	
			報酬	H			Ŧ	7			Ŧ	円			千円				千円
			委詞	<b>毛費</b>			1, 000 <del>1</del>	7			5, 500 ∓	円			千円				千円
		事業	需月	用費			Ŧ	7			Ŧ	円			千円				千円
	_	事業費	役科	务費			Ŧ	7			Ŧ	円			千円				千円
	ス		その	の他			Ŧ	7			Ŧ	円			千円				千円
<b>=</b>	٢		事	<b>業費合計</b>			1, 000 ∓	7			5, 500 ∓	円			千円				千円
【事業のコスト】		人	正罪	餓員	0.17	l,	1, 209 ∓	7	0. 20	人	1,422 ∓	円	人		千円		Į.		千円
のコ		件	臨	寺職員	0.00 -	l l	Ŧ	7	0.00	人	Ŧ	円	人		千円		,		千円
スト		費	人作	<b>牛費合計</b>	0.17	ι .	1, 209 ∓	7	0. 20	人	1,422 ∓	円	人		千円		,		千円
_		総事	業費	Ę			2, 209 ∓	7			6, 922 ∓	円			千円				千円
			国	表出金			900 ∓	7			4, 950 ∓	円			千円				千円
		特	使月	]料·手数料			Ŧ	7			Ŧ	円			千円				千円
	事 業 費	特定財源	分担	金·負担金			Ŧ	7			Ŧ	円			千円	·A			千円
	来 費	源	地	方債		千円		千円 千円		千円		千円				千円			
	~		その	の他			ŦI	7			Ŧ	円			千円				千円
		一般	以財源	Į.			1, 309 ∓	7			1, 972 ∓	円			千円				千円
		財源	合言	t			2, 209 ∓	7			6, 922 ∓	m			千円	·			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	1年度	平成23	3年度	平成22	2年度
	成 森林整備事業費	7 M	目標値	1000	達成率	5800	達成率	24600	達成率	17000	達成率
	朮│森林整備事業費 果│	千円	実績値	1000	100	5500	94. 83	24600	100	17000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_ [			実績値								
『事業の成果』			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の			実績値								
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
		Ī	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	未着手箇所の検討を行い、樹種の検討も踏まえて事業展開を図っていきます。
前	目標年度 平成28 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	坂井市海浜自然公園をはじめとした景観の美化及び枯松跡地に植栽を施し、緑化の確保に努めました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	自然災害や森林病害虫被害等により機能が低下している森林の機能回復や、美しい森林景観を再生するために、事業を推進していくことが重要と考えます。
取組	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	昨年度までの事業により、おおよそのエリアについて事業を実施することができましたが、未だ着手できない箇所の検証をし、事業実施に繋げていく考えです。

Г	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	[事務の効率化] 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	А	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力 (民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等) を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	А	
Γ	[事業の成果] 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	А	

			_			
		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	松くい虫の被害に	より損なわれ	た景観を蘇生させるため、今後も継続して実施していきます。		
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	事業実施要領によ	り、実施主体	は市となっています。		
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
所	判理 断由	5ヵ年計画で事業を	を実施してお	り、今後も景観を保てるよう事業展開を図ります。		
禹 長	,	人員投入の方[	句性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	他の業務と兼任の	ため厳しいと	考えています。		
I	すぐに	こできる改善提案	樹種を検討	し、事業展開を図っていきます。		
	目標年	度 一 年度				
Ī	中長期	的に取り組むべき 改善提案	森林の機能	回復や美しい森林景観を再生するために、事業を推進していくことが必要と考えます。		
		以告促未				
	目標年	度 年度				

_														
	事務署	事業名	水産	業事務	事業	三国						事業コード	06030	105101
	所管	部署	地垣	<b>【振興</b> 謂	【三	国支所)			電話	82-8904		記入者名	田島	康亨
	事業	対象	福井	- 県漁港	き漁場	協会								
	40. 4		基本	構想	地域	の活力を創	削造する	まちづくり	·J			事業区分	自治事	事務 (任意的なもの)
	総合	計画	基本	計画	水産	業の振興						事業種別	ソフト	事業
	実施	主体	市			実施手段	市が直	接実施	1	委託内容				
根拠法令 無														
	根拠	例規	無											
		計画・ ュアル	無											
【事業の		漁港、	漁場、	漁村及	び水産	霍都市の総合	整備を推	進するための	の活動で	を行う福井県	<b></b> !漁港漁場	湯協会に協賛する	ることに	より、坂井市漁村地域の活性化を
【事業の概要】		負担金	241千	円			発展推進	のため、福港	井県漁港	<b>巻漁場協会</b> は	に負担金を	を支出する。		
	事業の目的・事業の概要等	福港場場場	分基ス 分事業 分均等	美割 22 等割 市	10, 00 !, 125,	<sup>旦金</sup> 0円×3漁港 000円×0.3/	100	80千円 66千円 28千円 17千円						

7	算	Į	款	農林水産業績	費				項	水産業	費				目	水産業総	務費			
						平成	25年月	 度		<u> </u>	成24	年度		平成	23年度			平成	22年度	
			報西	Н				ŦF	<del>ŋ</del>			ŦI	円			千円				千円
		. [	委討	<b>モ費</b>				ŦF	9			千	円			千円				千円
		事業	需用	月費				ŦF	<del>ŋ</del>			ŦI	円			千円				千円
I =	.	事業費	役剂	务費				ŦF	9			ŦI	円			千円				千円
7			その	)他 241 ∓		9	125 千円			円	千円						千円			
- 1	۱ ً		事第	<b>養合計</b>				241 ∓⊩	<del>ŋ</del>			125 +⊦	円			千円				千円
「事業のコスト」		人	正聯	战員	(	). 16 人		1, 137 ∓	<del>ŋ</del>	0.03	人	213 ∓1	円	人		千円		人		千円
カコ		件費	臨時	<b>詩職員</b>	(	). 00 人		ŦF	9	0.00	人	ŦI	円	人		千円		人		千円
ス ト		賀	人作	‡費合計	(	). 16 人		1, 137 ∓	<del>ŋ</del>	0.03	人	213 ∓	Ħ	人		千円		人		千円
1		総事	業費	Ì				1, 378 ∓	9			338 ∓।	円			千円				千円
			国県	表出金				ŦF	9			ŦI	円			千円				千円
		特定財源	使用	料·手数料				ŦF	9			ŦI	円			千円				千円
事業	<b>∓</b>	正	分担	金·負担金				ŦF	9			ŦI	円			千円				千円
する	B	源	地力	債				ŦF	9			ŦI	円			千円				千円
1	Ĺ		その	D他				<del>1</del> F	9			ŦI	Ħ			千円				千円
		一般	財源	Į				1, 378 <del>+</del> F	9			338 ∓1	Ħ			千円				千円
		財源	合計	+				1, 378 ∓F	7			338 ∓।	m			千円	·			千円

I	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成負担金	<b>7</b> m	目標値	341	達成率	130	達成率	130	達成率	276	達成率
	成 負担金 果	千円	実績値	241	70. 67	125	96. 15	130	100	276	
	活事業割負担率	%	目標値	0. 3	達成率	0. 3	達成率	0.3	達成率	0. 3	達成率
٦.	活 事業割負担率 動	70	実績値			0. 3	100	0.3	100	0. 3	
「事業の成果」	活 漁港数 (基本割)	:#	目標値	3	達成率	3	達成率	3	達成率	3	達成率
カ	活 漁港数(基本割) 動	港	実績値	3	100	3	100	3	100	3	
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
П			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
П			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	県漁港漁場協会の負担金(法令外)ですが、漁港漁場整備には必要であるので継続します。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	安島漁港にて浚渫工事を実施しました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	制度が変わらない限り継続していきます。
取組	目標年度 未設定 年度	
る取組状況】	取組状況	事業内容について適正に把握していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
他	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	Α	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	<b>±</b>	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	漁港漁場整備には	必要なので絹	継続します。		
		実施主体の方向	<b>句性</b>	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由					
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
所	判理 断由	算出方法が明示さ	れており、翌	妥当と考えます。		
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持してい	きます。			
	すぐに	できる改善提案	県漁港漁場	協会の負担金(法令外)ですが、漁港漁場整備には必要であるので継続します。		
	目標年	度 年度				
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	制度が変わ	らない限り継続します。		
	目標年	度 年度				

事務	事業名	漁港	Ҍ施設管	理事	業 三国					事業コード	06030200101
所管	部署	地垣	<b>拔振興</b> 誤	₹ (三	国支所)		電訊	€ 82-8904		記入者名	田島 康亨
事業	対象	漁業	美従事者	首(雄	島漁業協同	]組合)					
40. 4	基本構想 地域の活力を創造するまちづ総合計画 ままる 水金米の振照					造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	計画	基本	画信	水産	業の振興					事業種別	施設管理事業
実施	主体	市		-	実施手段	市が直接実施		委託内容			
根拠法令 有 漁港漁場整備法											
根拠	.例規	有	坂井市漁	港管理	条例						
	計画・	無									
	施設の整備に	安全f よりi	管理と有 魚業活動	「効活月 」の安全	月及び漁港施 ≧と施設等の	設内の市有地確保利用 保全を図る。	によ	り、漁業者の	)作業効率	区の向上と生産性	<b>もの拡大を目指し、また関係施設等の環境</b>
	市が管	理して	ている第	1種》	魚港3港につい	いて、出入港時の安全を	を確保	けるため、	安島漁港	の浚渫を行う。	
事	〇修編		漁港3港	:(安島	4 島、梶、崎)	2千円					
事業の目的	OI.	事請負 県単2 【補5	.費 魚港修築 助率】	工事 県 1/	2, 費(安島漁港 2	488.5千円 浚渫工事)					

予算	拿	款 農林水	産業費			項	水産業費			目	水産業振	興費		
				平成	25年度		平成2	4年度	平成	23年度		平成	22年度	
		報酬			千円	9		千円			千円			千円
		委託費			千円	9		千円			千円			千円
	事業	需用費			42 <del>↑</del> ₽	9		42 千円			千円			千円
_	事業費	役務費			<del>1</del> P	9		千円			千円			千円
コス・		その他			6, 389 <del>1</del> ₽	9		500 千円			千円			千円
, ト		事業費合計	+		6, 430 ∓₽	9		542 千円			千円			千円
	人	正職員		0.30 人	2, 133 ∓₽	9	0.23 人	1,635 千円	人		千円	人		千円
)	件費	臨時職員		0.00 人	<del>f</del> P	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	賀	人件費合計	-	0.30 人	2, 133 ∓P	9	0.23 人	1,635 千円	人		千円	人		千円
1	総事	業費			8, 563 <del>↑</del> ₽	9		2, 177 千円			千円			千円
		国県支出金	ì		1,000 ∓₽	9		250 ∓円			千円			千円
	特	使用料·手数	:料		<del>1</del> F	9		千円			千円			千円
事業費	特定財源	分担金·負担	金		<del>1</del> P	9		千円			千円			千円
書	源	地方債			<del>1</del> P	9		千円			千円			千円
		その他			<del>1</del> P	3		千円			千円			千円
	一般	段財源			7, 563 ∓₽	9		1,927 千円			千円			千円
	財源	<b>京合計</b>			8, 563 ∓F	9		2, 177 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
成	事故発生率	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
成 果		1+	実績値			0		0		0	
汪	漁港利用者数	$\forall$	目標値	151	達成率	151	達成率	180	達成率	180	達成率
活動			実績値			151	100	151	83. 89	180	
「真美の牧民」			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
9			実績値								
<u> </u>			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	市内に第1種漁港が3港あり、地元漁船はもとより、緊急避難港としての役割を担っているため今後も整備が必要です。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	漁港施設の安全性を調査するとともに、安全確保に努めていきます。
取組	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
日当省平面		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	А	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	А	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由	漁港施設の安全管	理を図るため	)必要であると考えます。						
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由									
		コスト投入の方向	1性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安			
所	判理 断由	県道拡幅工事に伴	う、漁港改良	<b>ミエ事を実施します。</b>						
禹 長		人員投入の方[	句性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安			
【所属長評価】	判理 断由	他の業務と兼任で	兼任で負担が多く、漁港の適切な維持管理を図るため専任の職員が必要と考えます。							
	すぐに	こできる改善提案	市内に第1	種漁港が3港あり、地元漁船はもとより緊急避難港としての役割も担っているため今後も整備が必要で	<b>ごす</b> 。					
	目標年	度 年度								
	中長期	的に取り組むべき	漁港の安全	確保に努めていきます。						
		改善提案								
	目標年	度 年度								

_													
	事務	事業名	浅海	漁場改	(善事	業三国						事業コード	06030200106
	所管	部署	地域	振興調	₹ (Ξ	国支所)		電	話	82-8904		記入者名	田島 康亨
	事業	対象	坂井	市内の	漁業	者							
			基本	構想	地垣	域の活力を創	削造するまち	づくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
	総合	計画	基本	計画	水產	産業の振興						事業種別	ハード事業
	実施	主体	市			実施手段	市が直接実	施	季	託内容			
	根拠	法令	無			•							
	根拠	例規	無										
	関連マニ	計画・ ュアル	無										
【事業の概要】		沿岸域( に寄与			着物(	こより漁場環	境が悪化し、	さらに水産	資源	への影響を	及ぼすこ	ことを防ぎ、もっ	って漁場環境保全と安定した水産物水揚げ
5概要】	事業の目的・事業の概要等					こより漁場環 里費 7.35千		さらに水産	資源	への影響を	・及ぼすこ	とを防ぎ、もっ	って漁場環境保全と安定した水産物水揚げ

予算	Į	款 農林水	(産業費	Ē		項	水産業費			目	水産業振	興費		
				平成	25年度		平成2	24年度	平成	23年度		平成	22年度	
		報酬			千日	9		千円			千円			千円
		委託費			74 <del>+</del> F	9		千円			千円	ŦF		千円
	事業費	需用費		千円		9		千円					千円	
_	費	役務費		千円		9		千円					千円	
コス・		その他		千円		9		千円					千円	
- F		事業費合計	t		74 <del>+</del> F	9		千円			千円			千円
「事業の	人	正職員		0.26 人	1,848 ∓⊓	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
D	件費	臨時職員		0.00 人	Ŧſ	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
コ ス ト	賀	人件費合計	t	0.26 人	1,848 ∓⊓	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
1	総事	業費			1, 922 ∓F	9		千円			千円			千円
		国県支出金	<u> </u>		Ŧſ	9		千円			千円			千円
	特定財源	使用料·手数	料		Ŧſ	9		千円			千円			千円
事 業 費	上財	分担金·負担	金		Ŧſ	9		千円			千円			千円
書	源	地方債			Ŧſ	9		千円			千円			千円
~		その他			ŦF	9		千円			千円			千円
	一般	段財源		1, 922 千円		9		千円					千円	
	財源	原合計			1, 922 ∓F	9		千円			千円			千円

		指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
	成	処分量	+	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
	成 果		L	実績値	1	100	0	0	0	0	0	
	活	実施回数	回	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
_	活動		ы	実績値	1	100	0	0	0	0	0	
【事業の成果】				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の世				実績値								
果				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

	すぐにできる 改善提案	不測事態にそなえ、県と協議しながら対応を図ります。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	冬季の時化による不足の事態に備えて、今後も継続して実施していきます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	県と協議しながら今後の方向性について見極めていきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
他	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	Α	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理断由	漁場の漂流物は予	測不能なため	り、万が一に備え現状どおり継続していきたいと考えます。		
		実施主体の方向	<b>句性</b>	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	現体制が適当と考	えます。			
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
「所	判理断由	漁場環境保全とし	て必要と考え	<b>えます。</b>		
長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現在の人員で事業	にあたります	t.		
	すぐに	できる改善提案				
	目標年	度 年度				
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	万が一に備	え現状どおり継続実施していきます。		
	目標年	度 年度				

事務事業名	小規	<b>視模漁</b> 場	保全	事業 三国	1				事業コード	06030200111
所管部署	地垣	<b>找振興</b> 諄	₹ (三	.国支所)		電話	<b>82-8904</b>		記入者名	田島 康亨
事業対象	三国	国港機船	心底曳	網漁業協同	]組合(組合員25名、	、船数	效12隻)			
	基本	構想	地垣	はの活力を創	削造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合計画	基本	計画	水産	業の振興					事業種別	ソフト事業
実施主体	市			実施手段	業務の一部を委託	- 1	委託内容	海底耕耘		
根拠法令	無									
根拠例規	無									
関連計画・ マニュアル	無									
福井県 活性化	の主 する:	ー 要な水産 ことによ	ブラン	ンド「越前が k産資源の持	に」「甘エビ」「アカ 続的利用、安定供給を	ガレー確保す	イ」の生息 <sup>現</sup> する。	環境となる	6漁場の積極的な	(保全・創造を図るため、海底面を耕転し

市が三国港機船底曳網漁業協同組合に委託し、底曳網漁船によりアマエビ、アカガレイの生息域である三国第1漁場(1,570ha)、三国第2漁場 (1,510ha) の海底面を耕うんする。

○委託料 29,500千円 ・小規模漁場保全事業委託料 海底耕うん(対象生物 アマエビ・アカガレイ)

負担割合:国 50%・県 25%・市 15%・組合 10%

221千円

事業の目的

・事業の概要等

〇使用料及び賃借料 ・検査船傭船料

予:	算	款	農林水産業	費		項	水産業費			目	水産業振	興費		
				平成	25年度		平成	24年度	平成	23年度	Ę	平成	22年度	
			報酬		Ŧ	円		千円			千円		:	千円
	١		委託費		29, 500 ∓	円		29, 500 千円			千円		:	千円
	事業費		需用費		Ŧ	円		千円			千円		:	千円
	費	L	役務費		Ŧ	円		千円			千円		:	千円
コス・			その他		221 ∓	円		221 千円			千円		:	千円
<b> </b>			事業費合計		29, 720 ∓	円		29, 720 千円			千円		=	千円
	人		正職員	0. 22 人	1, 564 ∓	円	0.14 人	995 千円	人		千円	人	:	千円
	件	Ŀ	臨時職員	0.00 人	Ŧ	円	0.00 人	千円	人		千円	人	:	千円
	費		人件費合計	0. 22 人	1, 564 ∓	円	0.14 人	995 千円	人		千円	人	:	千円
	総	事:	業費		31, 284 ∓	円		30, 715 千円			千円		:	千円
		_	国県支出金		22, 125 ∓	円		22, 125 千円			千円		:	千円
	特	L	使用料·手数料		Ŧ	円		千円			千円		:	千円
事業費	特定財源	L	分担金·負担金		3, 300 ∓	円		3, 300 千円			千円		-	千円
書	源	L	地方債		Ŧ	円		千円			千円		-	千円
			その他		4, 075 ∓	円		千円			千円		:	千円
	<b>—</b> f	般	財源		1, 784 千円			千円				:	千円	
	財	源	合計		31, 284 ∓	円		30, 715 千円			千円		-	千円

ſ	指標名	単位	年度	平成25	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	华度
I	成漁場回復面積達率	%	目標値	66	達成率	33	達成率	100	達成率	91	達成率
	成 漁場回復面積達率 果	90	実績値			32	96. 97	100	100	91	
I	成 漁場回復面積	km2	目標値	66	達成率	33	達成率	244	達成率	224	達成率
_	成 漁場回復面積 果	MIIZ	実績値			32	96. 97	244	100	224	
事業	活漁獲量		目標値	465	達成率	405	達成率	405	達成率	385	達成率
カサ	活 漁獲量動	τ	実績値			465	114. 81	405	100	388	
「事業の成果」			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
I			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
ı			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	アマエビ漁場は昭和63年より、アカガレイ漁場は平成12年より継続して事業を行っていることにより、その事業効果は漁獲量にも反映されているので、今後も国、県とも 連携を取りながら継続していきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	平成25年度以降の長期計画後の漁場保全について、県水産課および漁協と協議を行い今後の方向性を模索しました。
る	中長期的に取り組むべき 改善提案	県水産課および漁協と協議して、長期計画のもとに取り組んでいきます。
取組	目標年度 未設定 年度	
取組状況】	取組状況	長期計画後の漁場保全について、県水産課および漁協と協議を行い今後の方向性について検討していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
<u></u>	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安				
				このよる秘術しより。 りに、今後も必要と考えます。	口际干皮		十尺でロダ				
	判理 断由	女足した感後里で	1唯床するため	リに、マダゼ型女と方んより。							
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安				
	判理断由	現体制が適当と考	えます。								
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安				
所	判理 断由	今後とも継続して	いきます。								
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安				
【所属長評価】	判理 断由	ロナの19~古典によりよう									
	すぐに	こできる改善提案	事業効果が	反映されているので、今後も継続していきます。							
	目標年	度 年度									
	中長期	的に取り組むべき	県・漁協と	連携して取り組んでいきます。							
		改善提案									
	目標年	度 年度									

ſ	事務	事業名	水産	業振興	事務	事業 三国					事業コード	06030205101		
	所管	部署	地垣	<b>拔振興</b> 誤	人 (三	.国支所)		電記	舌 82-8904		記入者名	田島 康亨		
ľ	事業	対象	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合の組合員								且合員			
		基本構想 地域の活力を創造するまちづくり							事業区分	自治事務(任意的なもの)				
	総合	計画	基本計画 水産業の振興								事業種別	ソフト事業		
	実施	主体	市 実施手段 市が直接実施				市が直接実施		委託内容					
	根拠	法令	無	無 無										
	根拠	例規	有	農林水産	課所管	補助金等交付要網	4							
		計画・ ュアル	無											
			の著し	_い上昇	等に。	より影響を受	けた漁業者の経営安定	化に	寄与すること	を目的と	とします。			
		水産業燃油高騰対策等緊急経営支援資金利子補給事業費補助や水産業経営安定緊急対策資金利子補給事業費補助を行うことにより漁業者経営の 安定に寄与します。												

ı	予算	[ ]	款	農林水産業績	費		項	水産業費			目	水産業振	興費		
					平原	<b>戈25年度</b>		平成2	24年度	平成	23年度	Ę	平成	22年度	
			報酬	H		Ŧ	Ħ		千円			千円		千円	-
			委詞	<b>£</b> 費		Ŧ	円	千円		千円				千円	
		事業費	需用費		千円		Ħ		千円	千円				千円	-
	_	費	役務費		千円		円		千円	千円				千円	}
	ス		その他		457 +₽		円				千円		千円	}	
=	١-		事業費合計		457 ∓		Ħ		888 千円			千円		千円	}
【事業のコスト】		人	正耶	餓員	0. 22 ㆍ	1, 564 🛨	円	0.03 人	213 千円	人		千円	,	千円	1
のコ		件	臨	寺職員	0.00 시	. +	Ħ	0.00 人	千円	人		千円	,	千円	}
スト		費	人作	<b>牛費合計</b>	0. 22 ㅅ	. 1, 564 ∓	Ħ	0.03 人	213 千円	人		千円	,	千円	}
۱		総事業費				2, 021 ∓	Ħ		1, 101 千円			千円		千円	}
			国	表出金		Ŧ	円		千円				+F.	}	
		特 定 財源	使用	]料·手数料		Ŧ	円		千円			千円		+F.	}
	事 業 費	正財	分担	金·負担金		Ŧ	Ħ		千円			千円		千円	1
	来 書	源	地フ	方債		Ŧ	円		千円			千円		∓F.	}
	~		その	D他		Ŧ	Ħ		千円	千円				千円	}
		一般	財源	Į.	2,021 千円				1, 101 千円	千円				千円	}
		財源合計				2, 021 ∓	Ħ		1, 101 千円			千円		<del>1</del> F	1

Ī	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
Г	成 水産業経営安定緊急対策資金支給対象者数	件	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
	成 水産業経営安定緊急対策資金支給対象者数 果	11	実績値			11	91.67	11	91.67	11	
	成 漁業用原油高騰対策資金支給対象者数 果	件	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
٦L	果	П	実績値			7	58. 33	7	58. 33	7	
「事業の成果」	活対象者事業経費	т Ш	目標値	625	達成率	889	達成率	1315	達成率	1, 709	達成率
カ	活 対象者事業経費 動	千円	実績値			857	96. 4	1315	100	1, 709	
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
Г			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
Г			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
1			実績値								

	すぐにできる 改善提案	水産業燃油高騰対策等緊急経営資金および水産業経営安定緊急対策資金に対する利子補給ですが、他の事業とあわせて水産業の振興を図っていきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	予算要求どおりの事業実施ができました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	経済情勢に鑑み、関係機関と協議しながらの継続が必要と考えます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	経済情勢に鑑み、関係者と協議しながら検討していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
1111	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安				
	判理 断由	漁業者の経営安定	を図るため台	今後も必要と考えます。							
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安				
	判理 断由	На     Min									
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。							
近	判理 断由	川理 漁業者の経営安定を図るため今後も必要と考えます。 所由									
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安				
「所属長評価」	判理 断由	可理 所由									
ı	すぐに	できる改善提案	水産業の振	興を図っていきます。							
	目標年	度 年度									
		的に取り組むべき 改善提案	経済情勢を	鑑み、関係機関と協議しながら必要と考えます。			_				
	目標年	度 年度									

事	事務事	事業名	水産	業経営	安定	事業 三国	<u> </u>				事業コード	06030205101		
良	近 行	部署	地垣	<b>拔振興</b> 誤	人 (三	国支所)		電話	图2-8904		記入者名	田島 康亨		
事	事業	対象	三国	三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港漁業協同組合および雄島漁業協同組合の組合員										
4			基本	構想	地垣	或の活力を創造するまちづくり					事業区分	自治事務(任意的なもの)		
彩	総合	計画	基本	計画	水產	<b>業の振興</b>					事業種別	ソフト事業		
身	実施.	主体	市			実施手段	市が直接実施		委託内容					
村	根拠法令無													
村	艮拠	例規	有	農林水産課所管補助金等交付要綱										
		計画・ ュアル	無											
		【利子者 【漁獲: ます。	補給】 共済】	漁業施 漁獲共	設整値 済の抗	⋕等の資金借 掛金の一部財	iり入れに対し利子補給 i成を行うことにより漁	を行: 獲共:	なうことによ 済加入を促進	り、漁業し、不満	≹経営の改善を推 無災害時において	推し経営の安定化を図ります。 こも漁業経営の安定を図ることを目的とし		
ます。  ★漁業近代化資金利子補給事業補助金 漁船の建造・改築、漁船修理、漁具及び漁具倉庫、船揚施設の改良、造成又は所得に必要な資金(福井県信用漁業協同組合連合会に借入 漁船の建造・改築、漁船修理、漁具及び漁具倉庫、船揚施設の改良、造成又は所得に必要な資金(福井県信用漁業協同組合連合会に借入 書と償還計画書を提出し、連合会で審査決定された資金)の借入れ金に対し、福井県信用漁業協同組合を通じて補助を行ないます。  ・ 漁獲共済加入助成事業費補助金 共済加入契約割合が80%以上の加入者の掛金に対して、掛金の10%以内で補助を行います。  ・ 事業のの ・ 事業のの ・ 概要 ・ 要等									‡県信用漁業協同組合連合会に借入れ申込 含を通じて補助を行ないます。					

予算	Ī	款 農林水産業	費		項	水産業費			目 水産業振	興費	
			平成2	5年度		平成2	4年度	平成:	23年度	平成:	22年度
		報酬		千円			千円		千円		千円
		委託費		千円			千円		千円		千円
	事業費	需用費	千円		千円				千円		千円
	費	役務費		千円				千円		千円	
コス・		その他	1,920 千円		2, 158 千円				千円		千円
۲		事業費合計		1, 920 千円			2, 158 千円		千円		千円
	人件費	正職員	0.06 人	427 千円		0.03 人	213 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円		0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.06 人	427 千円		0.03 人	213 ∓円	,	千円	人	千円
	総事	事業費		2, 347 千円			2,371 千円		千円		千円
		国県支出金		千円	千円				千円		千円
	特	使用料·手数料		千円			千円		千円		千円
事	特定財源	分担金·負担金		千円			千円		千円		千円
事業費	源	地方債		千円			千円		千円		千円
		その他		千円			千円		千円		千円
	一般	<b>设財源</b>		2, 347 千円			2, 371 千円		千円		千円
	財源	原合計		2, 347 千円			2, 371 千円		千円		千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
万	利子補給利用件数	件	目標値	20	達成率	20	達成率	20	達成率	20	達成率
Ĵ	利子補給利用件数 	1+	実績値			18	90	20	100	20	100
万	漁業共済加入者数	,	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
1 月			実績値			12	100	12	100	7	58. 33
	利子補給額	千円	目標値	1727	達成率	1892	達成率	2448	達成率	2466	達成率
に重いて		干円	実績値			1538	81. 29	2448	100	2466	100
1	坂井市漁獲共済加入助成事業補助金	千円	目標値	625	達成率	651	達成率	847	達成率	847	達成率
三元		111	実績値			620	95. 24	847	100	847	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	【利子補給】貸付制度の見直しを行うとともに、漁船漁具の整備を図り漁業振興につなげます。 【漁獲共済】加入率が80%加入することを目標に推進します。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	県信連と連絡を密にし、正確な数値の把握に努めます。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	漁業経営の安定化を図るため、継続しての支援が必要と考えます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	社会情勢利用状況を鑑み、関係者と協議しながら検討していきます。

Г		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
效 率 性	为 库 生	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有效性	有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
L		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
Γ		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	А	
妥当性	妥 当 生	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	А	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理断由	漁業従事者が、安	定した生活を	回るために今後も必要であると考えます。		
		実施主体の方向	<b>句性</b>	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	現在どおりがふさ	わしいと考え	iます。		
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
所	判理 断由	経済情勢を鑑み、	現状どおり実	を施します。		
馬長	人員投入の方向性			現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現在の人員で事業	にあたります			
	すぐに	できる改善提案				
	目標年	度 年度				
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	漁業経営の	安定化を図るため、継続して必要と考えます。		
	目標年	度 年度				

	事務	事業名	漁業	<b>美振興</b> 資	金融	資事業 三	国				事業コード	06030205101
Г	所管	部署	地垣	<b>城振興</b> 認	<b>₹</b> (Ξ	国支所)		電話	82-8904		記入者名	田島 康亨
	事業	対象	三国	国港機船	追良	網漁業協同	]組合、三国港漁業	協同糺	組合および	雄島漁業	業協同組合	
			基本	構想	地垣	域の活力を創	削造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
	総合	計画	基本	三計画	水產	産業の振興					事業種別	ソフト事業
Г	実施	主体	市			実施手段	市が直接実施	ŧ	委託内容			
	根拠	法令	無			•						
	根拠	例規	無									
		計画・ ュアル	無									
T lock state		漁業経に準じ	営基語 た制原	盤の強化 度を、漁	を図。 業協[	るため、坂井 司組合に対し	市が中小企業経営基盤 ても制度化し、経営基	強化な	及び事業活性 蛍化を図る。	き化のため	り制度化している	5、坂井市中小企業者等振興資金融資事業
Table   10.1	事業の目的・事業の概要等	合に対 資金: 融資期 預託金	して 自己 間 額の!	言融資 無 漢金 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 会 の は 日 は 日 の の の の の の の の の の の の の の の	   		県信連)に資金を預託	iし、 ji	県信連は預言	<b>.</b> たを受け <i>た</i>	≿金額にその5倍	<b>倍以上の自己資金を加えた額を漁業協同組</b>

ſ	予算	<u> </u>	款	農林水産業績	費			項	水産業	費				目	水産業振	興費			
						平成	25年度		平	成24年	度		平成	23年度		3	平成2	22年度	
			報酬	H			<del>1</del>	円			<del>f</del> P	9			千円				千円
			委詞	<b></b>			7	円			<del>1</del> P	9			千円				千円
		事業	需用	用費			7	·H			<b></b> ∓P	9			千円	<b>円</b>			千円
	_	事業費	役科	务費			7	·H				9			千円	Ŧ			千円
	구.		その	D他			20, 000 =	円			20,000 ∓₽	9			千円				千円
Ŧ	٢		事	<b>業費合計</b>			20, 000 =	円			20, 000 ∓₽	9			千円				千円
事 業		人	正理	餓員	0	). 07 人	498 ₹	·H	0.04	Į.	284 ∓₽	9	人		千円		人		千円
【事業のコスト】		件費	臨	寺職員	0	). 00 人	=	円	0.00 -	Į.	₹P	9	人		千円		人		千円
スト		賀	人作	<b>牛費合計</b>	0	). 07 人	498 ₹	円	0.04	,	284 ∓₽	9	人		千円		人		千円
		総事	業費	Ę			20, 498 🛪	円			20, 284 ∓₽	9			千円				千円
			国	表出金			-1	円			÷₽	9			千円				千円
		特	使月	]料·手数料			-1	円			÷₽	9			千円				千円
	事 業 費	特定財源	分担	金·負担金			7	円			千円		千円		千円			千円	
	未 費	源	地力	方債			7	円			÷₽	9			千円				千円
	^		その	の他			20, 000 <del>1</del>	円			20,000 ∓₽	9	千円			千円			千円
		一般財源			498 千円			円	284 ∓ฅ			9	千円			千円 千円			千円
		財源	合記	t			20, 498 =	円			20, 284 ∓₽	9	·		千円				千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23年度	平成22年度
成	利用件数	件	目標値	18	達成率	10	達成率	達成率	達成率
果	利用件数	1+	実績値			10	100		
活	利子補給額	千円	目標値	587	達成率	453	達成率	達成率	達成率
活動		111	実績値			245	54. 08		
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						

	すぐにできる 改善提案	初年度の事業であるため、今後の動向を見ていきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	予算どおり県信連へ貸付けを行い、これに対して漁業へ融資を行いました。
に対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	継続して事業を実施していく必要があると考えます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	利用状況や経済情勢を鑑み、また、他の事業とのパランスを考えて検討していきます。

_				
	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
L	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっています か?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有效性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

L		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	漁業協同組合の経	営基盤強化は	Sよび安定のために必要と考えます。		
L	断由					
L		実施主体の方向	<b>句性</b>	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
ı	判理 断由	現体制がふさわし	いと考えます	T.		
L	断由					
L		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
╻	判理 断由	利用実績もあり、				
折	断由					
長		人員投入の方向	<b>句性</b>	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
「所属長評価」	判理 断由	現状どおり必要と	考えます。			
	断由					
ı			今後の動向	を見ていきます。		
ı	すぐに	できる改善提案				
ŀ	目標年	度 年度				
ŀ			#1 ± + = +			
	中長期	的に取り組むべき	期回を見な	がら、継続して実施していく必要があると考えます。		
L		改善提案				
	目標年	度 年度				

_															
	事務	事業名	制度	融資利	]子補	i給事業 三	国				事業コード	06030	205101		
	所管	部署	地均	<b>拔</b> 摄興課	(三	.国支所)		電話	82-8904		記入者名	田島	康亨		
	事業対象 三国港機船底曳網漁業協同組合、三国港							劦同組	l合および	雄島漁	<b>業協同組合</b>				
	基本構想 地域の活力を創造するまちづくり										事業区分 自治事務(任意的なもの)				
	総合計画 基本計画 水産業の振興										事業種別	ソフト	<b>卜事</b> 業		
	実施	主体	市			実施手段	市が直接実施	23	委託内容						
	根拠	法令	無												
	根拠	例規	無												
		計画・ ュアル	無												
【事業の		漁業振	興資金	金融資事	業に。	より、融資を	受けた漁業協同組合に	対し、	その償還和	子の一部	形を利子補給する	ることに	より、漁業経営基盤の強化を図		
【事業の概要】	事業の目的・事業の概要等	1年間分 H24年	でで	還利子6 分対象期	の一部間(H	(1%の利子 ⊣24年4月〜1	相当額)の補給 2月間)に支払った利-	7							

3	予算	:	款	農林水産業費	費				項	水産業	費				目	水産業振	興費			
						平成	25年度			平	成24年	年度		平成2	23年度			平成	22年度	
			報酬	М				千円	ı				千円			千円				千円
			委記	<b>壬費</b>				千円	ı				千円			千円				千円
		事業費	需月	月費				千円	ı				千円			千円	<u> </u>			千円
1.	. l	費	役科	务費				千円	ı				千円			千円	千円			千円
	ス		その	D他				442 千円	ı			245	千円			千円				千円
2	۱ ا		事業	<b>美費合計</b>				442 千円	1			245	千円			千円				千円
事 業		人	正耶	戦員	0	. 07 人		498 千円	ı	0.03	人	213	千円	人		千円		人		千円
のコ		件	臨	寺職員	0	.00 人		千円	ı	0.00	人		千円	人		千円		人		千円
【事業のコスト】	L	費	人作	‡費合計	0	. 07 人		498 千円	ı	0. 03	人	213	千円	人		千円		人		千円
L		総事	総事業費					940 千円	ı			458	千円			千円				千円
			国	表出金				千円	ı				千円			千円				千円
		特点	使用	]料·手数料				千円					千円			千円				千円
4	事業費	特定財源	分担	金·負担金				千円					千円			千円				千円
1	表 掛	源	地フ	5債				千円					千円			千円				千円
	^ [		その	D他				千円	ı				千円			千円				千円
	ı	一般	以財源	Ī				940 千円	ı			458	千円			千円				千円
		財源	合計	·				940 千円	1			458	千円			千円				千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	<b> </b> 年度	平成23年度		平成22	生度
	成 利用件数	件	目標値	18	達成率	10	達成率	達成	戊率		達成率
	成 利用件数 果	1+	実績値			10	100				
	活利子補給額	千円	目標値	587	達成率	453	達成率	達成	戊率		達成率
_	活 利子補給額 動	111	実績値			245	54. 08				
【事業の成果】			目標値		達成率		達成率	達成	戊率		達成率
の成し			実績値								
果			目標値		達成率		達成率	達成	戊率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率	達成	戊率		達成率
			実績値								
		Ī	目標値		達成率		達成率	達成	<b>戈</b> 率	·	達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	利用実績を見て判断していきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	事業実績に応じた利子補給を行いました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	融資の状況や、経済情勢に鑑み、その時代に応じた見直しを図っていきます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	関係機関と協議しながら、今後の事業展開について検討していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
<b>_</b>	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	漁業協同組合の経	営基盤強化は	および安定を図るために必要と考えます。		
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	現状のままでよい	と考えます。			
I		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
T 新	判理 断由	経済情勢を鑑み必	要と考えます			
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
「所属長評価」	判理 断由	現状どおり必要と	考えます。			
	すぐに	できる改善提案	利用実績を	見て判断していきます。		
I	目標年度 年度					
		的に取り組むべき 改善提案	経済情勢を	鑑み、見直し等を図っていきます。		
	目標年	度 年度				

事務	事業名	栽培	浩漁業自	立支	援事業	三国					事業コード	06030210106	6	
所管	部署	地垣	<b>拔振興</b> 誤	果(三	.国支所)			電話	82-8904	1	記入者名	田島 康亨		
事業	対象	市内	にある	5漁業	協同組合	 及び漁業者	が組織する	る団体	<b></b>					
		基本	構想	地垣	の活力を	創造するま	<b>まちづくり</b>				事業区分	自治事務(	任意的なもの	))
総合	計画	基本	計画	水産	業の振興						事業種別	補助金事業	(事業)	
実施	主体	そσ.	他	•	実施手段	市が直接	実施	į	委託内容					
根拠	法令	無												
根拠	例規	無												
	計画・ ュアル	無												
	続的な	活用る	推進する を目指し 確保を図	、天然	<b>然マダイ、ヨ</b>		∮域の主要な アワビ等の	漁業資漁獲量	資源の回復 量シェアー	を図ることの確保が可	とと併せ、資源管 可能な体制を作る	管理型漁業を推 ることにより、□	進することによ 中核的漁業者 <i>0</i>	り資源の持 )育成及び漁
事業	種苗放てこれ・雄島	流事第 までの 漁業情	胡同組合	して糸 業のタ `							流経費の負担、漁 育成放流を実施し <b></b> <b>と</b> 収入の増加が其			ー ます。併せ 重苗放流

予算	草	款	農林水産業費	ŧ		項	水産業費			目	水産業振	興費			
				平成	25年度		平成2	.4年度	平成	23年度		平成	22年度		
		報	駲		千円	3		千円			千円			千円	
	۱	委	託費		千円	3		千円			千円			千円	
	事業費	需	用費		千円	3		千円			千円			千円	
$\Box$	費	役	務費		千円	3		千円			千円			千円	ı
ス		そ	の他		2, 128 ∓₽	3		2,002 千円			千円			千円	ı
<b> </b>		事:	業費合計		2, 128 ∓₽	3		2,002 千円			千円			千円	
	人	正	職員	0.25 人	1,777 ∓₽	3	0.23 人	1,635 千円	人		千円	人		千円	ı
	件	臨	時職員	0.00 人	千円	3	0.00 人	千円	人		千円	人		千円	ı
	費		件費合計	0.25 人	1,777 ∓₽	3	0.23 人	1,635 千円	人		千円	人		千円	ı
'	総事	<b>事業</b>	<b>豊</b>		3, 905 ∓₽	3		3, 637 千円			千円			千円	ı
		玉	県支出金		千円	3		千円			千円			千円	ı
	特定財	使月	用料·手数料		千円	3		千円			千円			千円	ı
事	財		旦金·負担金		千円	3		千円			千円			千円	ı
事業費	源	地:	方債		千円	3		千円			千円			千円	ı
		そ	の他		千円	3		千円			千円			千円	
	— 舟	设財》	亰		3, 905 ∓₽	3		3, 637 千円			千円			千円	
	財派	原合詞	<del>†</del>		3, 905 ∓₽	3	·	3, 637 千円			千円			千円	

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
成	放流達成率	%	目標値	100	達成率	67	達成率	34	達成率	100	達成率
果		90	実績値			67	100	34	100	100	
活	放流数(アワビ)	個	目標値	39000	達成率	42000	達成率	51000	達成率	51000	達成率
動			実績値			42000	100	51000	100	51000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	坂井市ならではの、優良な漁業資源を確保し、漁業従事者の安定した生活を図ることが重要であると考えます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	ヒラメ、マダイ、アワビの放流事業を実施しました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	水産物の安定した供給を図り、漁業後継者の間接的育成につなげていきます。
る取組状況】	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	水産物の安定した供給を図り、漁業後継者の関節的育成につなげていきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
価	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	漁業資源を図るた	:めにも必要と	考えます。		
		実施主体の方	句性	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由					
		コスト投入の方向	讨性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
「所	判理 断由	漁業従事者の安定	とした生活確保	そのために必要と考えます。		
馬長		人員投入の方	句性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	他の業務の担当者	た協力しなか	がら実施しているため、最低限現状どおり必要と考えます。		
	すぐに	できる改善提案	優良な漁業	資源を確保し、漁業従事者の安定した生活確保のために必要と考えます。		
	目標年	度 一 年度				
		的に取り組むべき 改善提案	水産物の安	定した供給を図り、漁業従事者の育成および安定した生活確保のために必要と考えます。		
	目標年	度 年度				

	事務事	事業名	越前	īがにブ	ラン	ド化事業	三国				事業コード	06030	210116
	所管	部署	地均	振興課	三(三	国支所)		電話	82-8904		記入者名	田島	康亨
	事業	対象	三国	港機船	底曳	網漁業協同	]組合の組合員、水原	産業、	観光産業	に携わる	5者		
	60 A		基本	構想	地域	の活力を創	削造するまちづくり				事業区分	自治事	事務(任意的なもの)
	総合	計画	基本	計画	水産	業の振興					事業種別	補助郐	金事業 (事業)
	実施	施主体 市 実施手段 市が直接実施					市が直接実施	ŧ	委託内容				
	根拠	根拠法令無											
	根拠	例規	無										
	関連マニ	計画・ ュアル	無										
【事業の概要】		坂井市( 活性も			ブラン	ンドである「 <u>;</u>	越前ガニ」の高付加価	i値化の	D取り組みる	きすること	こにより水産振興	見を行い	ます。また、それによる地域経済
5 概要】	事業の目的・事業の概要等	坂井市	三国港	きで水揚	げされ	<b>いたズワイガ</b>	ニについて、「越前ガ	-15	マグを取りた	けけて他渚	きのカニとの差別	小化をす	ることにより価格安定を図りま

Г	予算	[ ]	款	農林水産業	ŧ			項	水産業費			目	水産業振	興費		
					7	成25	年度		平成	24年度	平成	23年度		平原	<b>戈22年度</b>	
			報酬	州			Ŧ	円		千円			千円			千円
			委	<b>毛費</b>			Ŧ	円		千円			千円			千円
		事業	需用	用費			Ŧ	円		千円			千円			千円
	_	事業費	役	<b>务費</b>			Ŧ	円		千円			千円			千円
	<u>ج</u>		そ(	の他			971 ∓	円		972 ∓円			千円			千円
=	١-		事	業費合計			971 ∓	円		972 壬円			千円			千円
事 業		人	正耳	<b></b>	0. 25	人	1,777 ∓	円	0.03 人	213 ∓円	人		千円	J		千円
【事業のコスト】		件	臨	寺職員	0.00	人	Ŧ	円	0.00 人	千円	人		千円	J		千円
スト		費	人	<b>牛費合計</b>	0. 25	人	1,777 ∓	円	0.03 人	213 ∓⊞	人		千円	J		千円
		総事	事業費				2, 748 ∓	PI		1, 185 千円			千円			千円
			国	県支出金			Ŧ	PI		千円			千円			千円
		特定財源	使月	月料·手数料			Ŧ	PI		千円			千円			千円
	事 業 費	Ы		金·負担金			Ŧ	PI .		千円			千円			千円
	未 書	源	地	方債			Ŧ	PI .		千円			千円			千円
			そ(	の他			Ŧ	PJ		千円			千円			千円
		一般	財源	Į.			2, 748 ∓	PI I		1, 185 千円			千円			千円
		財源	財源合計				2, 748 ∓	円	·	1, 185 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
	成 漁業従事者数		目標値	75	達成率	75	達成率	75	達成率	75	達成率
	果	_ ^	実績値			75	100	75	100	75	
	成越前がに水揚高	千円	目標値	400000	達成率	400000	達成率	382984	達成率	382984	達成率
_	果	1117	実績値			400700	100. 18	382984	100	382984	
事業	活かにタグ作成数 動	個	目標値	100000	達成率	100000	達成率	120000	達成率	120000	達成率
の成	動	1121	実績値			100000	100	120000	100	120000	
の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率	·	達成率	·	達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	平成10年度から実施している事業であり、平成24年度までの期間設定で越前ガニの表示(タグ)をするものでありますが、定着してきた段階で検討する必要があると考え ます。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	「三国温泉かに祭」により、観光、商工、水産振興発展に取り組みました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	継続が必要と考えます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	助成のあり方、自立について関係者と協議していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
킐	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	Α	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	貴重な水産資源で	ある越前ガニ	このブランド化により、付加価値を高めることがきるため必要と考えます。		
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	数量の把握等を考	えると現状と	ざおりがふさわしいと考えます。		
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
所	判理 断由	ブランド化に重要	な事業と考え	ist.		
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状どおり必要と	考えます。			
	すぐに	できる改善提案	越前ガニの	表示をするもので、ブランド化が定着してきた段階で検討する必要があると考えます。		
	目標年	度 年度				
		内に取り組むべき 改善提案	現在は、継	続が必要と考えます。		
	目標年	度 年度				

	事務	事業名	三国	港内夜	間安	全確保事業	美 三国				事業コード	06030210126
	事業対象       基本構想     地域の活力を創造するまち       総合計画     基本計画       水産業の振興						電	話 82-8904		記入者名	田島 康亨	
						]組合の組合員、三	国港	を航行する	船舶及び	が観光客		
			基本	構想	地域	域の活力を創	削造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
	総合	計画	基本	計画	水產	産業の振興					事業種別	補助金事業(事業)
	実施	主体	市			実施手段	市が直接実施		委託内容			
	根拠	法令	無									
	根拠	例規	無									
		計画・ ュアル	無									
【事業の概要】		福井港 三国港	内にあ	ある三国 设置して	港地	区内における 投光機の電気	船舶の安全航行と、漁 料を補助します。	魚業者	<b>首及び観光客</b> 等	等の転落事	事故等を防止する	ため、三国港機船底曳網漁業協同組合が
5概要】	事業の目的・事業の概要等	漁業者	、観ジ	光客及び	*歩行	者の港内への	転落事故を防止します	r.				

ſ	予算	<u> </u>	款	農林水産業績	費			:	項水	産業費					目	水産業振	興費			
						平成	25年度			平成	24年度			平成	23年度			平成	22年度	
			報酉	H				千円				千	円			千円				千円
			委詞	<b>毛費</b>				千円				Ŧ	円			千円	千円			千円
		事業	需月	用費	Ŧſ		千円	千円			円			千円	千円			千円		
	_	事業費	役務費		Ŧſ		千円	千円		円			千円	千円			千円			
	ス		その他			720 千円			720 ∓	円	千円						千円			
Ŧ	٢		事美	<b>業費合計</b>		720 +⊦		0 千円				720 <del>+</del>	円	千円					千円	
【事業のコスト】		人	正耶	餓員	0.	06 人	42	7 千円	0	).03 人		213 ∓	円	人		千円		人		千円
のコ		件費	臨	寺職員	0.	00 人		千円	0	).00 人		Ŧ	円	人		千円		人		千円
スト		賀	人作	<b>牛費合計</b>	0.	06 人	42	7 千円	0	. 03 人		213 ∓	円	人		千円		人		千円
		総事	事業費				1, 14	7 千円				933 ∓	円			千円				千円
			国	表出金	Ŧ		千円	千円			円			千円				千円		
		特	使用	]料·手数料				千円				Ŧ	円			千円				千円
	事	特定財源	分担	金·負担金				千円				Ŧ	円			千円				千円
	事 業 費	源	地フ	方債				千円				Ŧ	円			千円				千円
	^		その	D他	千円		千円				Ŧ	円			千円				千円	
		一般	財源	Į.	1, 147 千円		933 千円			円	千円						千円			
		財源合計		t			1, 14	7 千円				933 ∓	m			千円				千円

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成2	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
J.	並 船舶数	隻	目標値	13	達成率	13	達成率	13	達成率	13	達成率
È		支	実績値			13	100	13	100	13	
ÿ	<b>船舶数</b>	隻	目標値	13	達成率	13	達成率	13	達成率	13	達成率
1	<b>协</b>	又	実績値			13	100	13	100	13	
事業	舌 <mark>転落事故件数</mark>	件	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
の見	<b>协</b>	1+	実績値			0		0		0	
成果	者 補助金額	千円	目標値	720	達成率	720	達成率	720	達成率	720	達成率
		111	実績値			720	100	720	100	720	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	漁業者はもとより、一般市民の安全(転落防止)にも寄与するものであるので、必要と考えます。。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	電気料が過大になっていないかチェックしています。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	今後も継続して取り組む必要があると考えます。。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	ハード的機能が失われた時に検討課題として提案します。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
<b>_</b>	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	4	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
	判理断由			上等) のために必要と考えます。		12012
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
	判理 断由	他に補填する期間	がないため、	現状どおりと考えます。		
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
所	判理 断由	三国港内の安全確	保(転落防」	上等)のために必要と考えます。		
属 長		人員投入の方[	<b>向性</b>	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状どおりで事業	にあたります	F。		
	すぐに	こできる改善提案	漁業者はも	とより、一般市民の安全確保(転落防止等)のためにも必要と考えます。		
	目標年	度 年度				
	中長期的に取り組むべき 今後 改善提案			して取り組み必要があると考えます。		
	目標年					

事務事業名	漁業	美関係科	重苗中	間育成施設	设補修事業 三国				事業コード	06030210131
所管部署	地垣	<b>城振興</b> 認	果 (三	.国支所)		電訊	€ 82-8904		記入者名	田島 康亨
事業対象	市内	内にある	る漁業	協同組合及	び漁業者が組織する	る団体	<b>本</b>			
60 A -1	基本	構想	地垣	はの活力を創	自治事務(任意的なもの)					
総合計画	基本計画 水産業の振興								事業種別	ソフト事業
実施主体	市			実施手段	市が直接実施	委託内容				
根拠法令	無									
根拠例規	無									
関連計画・ マニュアル 無										
続的な	活用	推進する を目指し 確保を図	、天然	<b>然マダイ、天</b>	域及び浅海域の主要な 然ヒラメ、アワビ等の	漁業資	資源の回復を 量シェアーの	図ること	と併せ、資源管 可能な体制を作る	管理型漁業を推進することにより資源の持 ることにより、中核的漁業者の育成及び漁

栽培漁業を推進することにより、沿岸域及び浅海域の主要な漁業資源の回復を図ることと併せ、資源管理型漁業を推進することにより資源の持 続的な活用を目指し、天然マダイ、天然ヒラメ、アワビ等の漁獲量シェアーの確保が可能な体制を作ることにより、中核的漁業者の育成及び漁 業後継者の確保を図ります。

予算	Ī	款 農林水産業	費		項 水産	業費			目 ;	水産業振	興費			
			平成2	25年度	:	平成24年	度	平成	23年度		平原	22年度	Ę	
		報酬		千円			千円			千円			千円	
		委託費		千円			千円	千円					千円	
	事業費	需用費		千円	千円			千円					千円	
_	費	役務費	千円			千円			千円				千円	
コス・		その他	200 千円			200 千円			千円				千円	
۲	<u></u>	事業費合計			200 千円			千円				千円		
		正職員	0.06 人	427 千円	0. 03	3 人	213 千円	人		千円	,		千円	
	件費	臨時職員	0.00 ㅅ	千円	0.00	) 人	千円	人		千円	,		千円	
	質	人件費合計	0.06 人	427 壬円	0. 03	} 人	213 千円	人		千円	,		千円	
	総事	業費		627 千円			413 千円			千円			千円	
		国県支出金		千円		千円			千円				千円	
	特	使用料·手数料		千円			千円			千円			千円	
事 業 費	特定財源	分担金·負担金		千円			千円			千円			千円	
書	源	地方債		千円			千円			千円			千円	
^		その他		千円			千円			千円	3			
	— 船	<b>设財源</b>		627 千円		413 千円			千円			円 千円		
	財源合計			627 ∓円			413 千円	千円					千円	

	指標名	単位	年度	平成25	5年度	平成24	<b>4</b> 年度	平成23	3年度	平成22	年度
成	補修件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
果		1+	実績値			1	100	1	100	1	
活	放流数(アワビ)	個	目標値	39000	達成率	42000	達成率	51000	達成率	51000	達成率
動			実績値			42000	100	51000	100	51000	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	2市2町(福井市・坂井市・越前町・南越前町)が共同で建設し維持している中間施設であり、今後低コストな器具導入など検討し維持していきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	栽培漁業自立支援事業を効果的に、継続的に実施するため種苗中間育成施設の改善を嶺北地域栽培漁業推進協議会を通じて行いました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	事務局の負担を軽減するために、専任職員を雇用し、4地区で人件費を負担します。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	平成26年度より専任職員を雇用します。

Γ	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
Г	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっています か?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安				
	判理 断由	漁業資源の中間育	成施設の存績	・ にのために、今後も必要と考えます。							
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安				
ı	判理 断由	協議会の会員とし	て今後も継続	<b>売していきます。</b>							
		コスト投入の方向	1性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安				
所	判理 断由	事務局の福井市よ	り、事務負担								
禹長		人員投入の方[	<b>句性</b>	現状を維持します。	目標年度		年度を目安				
【所属長評価】	判理 断由	現状で事業にあた	:ります。								
	すぐに	こできる改善提案	2市2町(	福井市・坂井市・越前町・南越前町)が共同で建設し維持している中間施設であり、低コストな機器	等の購入を検討す	する必要があります。					
	目標年度 年度										
	中長期的に取り組むべき		施設の老朽化に伴う対応について、今後の検討課題となると思われます。								
	改善提案										
	目標年	度 年度									

事務	事業名	内水	(面漁業	美振興	事業 三国					事業コード	06030210136
所管	部署	地均	拔振興課	₹ (三	国支所)		電話	82-8904		記入者名	田島 康亨
事業	対象	竹田	1川漁業	<b>Ě協同</b>	組合の組合	員					
40. 4		基本	構想	地域	の活力を創	造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	·計画	基本計画 水産業の振興						事業種別			補助金事業(事業)
実施	主体	市	,		実施手段	市が直接実施		委託内容			
根拠	法令	無									
根拠	例規	無									
	計画・ ·ュアル	無									
	内水面 します	漁業資 。	資源増大	:を図る	るため、組織	的な種苗放流及び種苗	生息	環境整備等を	·行い、a	あわせて豊かで住	Eみよい地域の振興に資することを目的と
【放流事業】 平成24年度において、アユ、、ヤマメ、アマゴの放流を実施しました。 【魚場維持管理事業】 漁場環境美化活動(清掃等)を年間4回行いました。  事業 の 目的 ・ 事業 の 概要 等											

	予算	<u> </u>	款	農林水産業績	ŧ		項	水産業費			目	水産業振	興費		
					平成	25年度		平成	24年度	平成	23年度	Ę	平成	22年度	
			報酉	H		千	<del>ŋ</del>		千円			千円		Ŧ	円
			委討	·		千	9		千円			千円		Ŧ	円
		事業費	需月	月費		千	<del>ŋ</del>	千円			千円			Ŧ	円
	_	費	役剂	务費		Ŧſ	9		千円			千円		Ŧ	円
	ス		その	D他		90 ∓1	9		90 千円			千円		Ŧ	円
Ŧ			事美	<b>美費合計</b>		90 ∓1	9		90 千円			千円		Ŧ	円
事業の		人件費	正耶	鎖員	0.10 人	711 ∓⊓	9	0.03 人	213 ∓⊞	人		千円	人	Ŧ	円
のコ			臨時	持職員	0.00 人	千日	9	0.00 人	千円	人		千円	人	Ŧ	円
コスト】		貫	人化	‡費合計	0.10 人	711 ∓⊓	9	0.03 人	213 ∓⊞	人		千円	人	Ŧ	円
٦		総事	業費	t		801 ∓⊩	9		303 千円			千円		Ŧ	円
			国県	表出金		千	9		千円			千円		Ŧ	円
		特定財源		]料·手数料		千日	<del>ŋ</del>		千円			千円		Ŧ	円
	事業	財	分担	金·負担金		千日	9		千円			千円		Ŧ	円
	事業費	源	地ブ	債		ŦI	9		千円			千円		Ŧ	円
			その	D他		千	9		千円			千円		Ŧ	円
		一般	以財源	į	801 千円		9		303 ∓⊞	千円				Ŧ	円
		財源合計		t		801 ∓	<b>T</b>		303 ∓⊞			千円		Ŧ	円

	指標名	単位	年度	平成25年度	Ę	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成 遊魚証販売額	тm	目標値	達月	<b>述率</b>	600	達成率	600	達成率	600	達成率
	成 遊魚証販売額 果	千円	実績値					600	100	600	
	活 種苗放流数	kg	目標値	達月	<b>贞率</b>	150	達成率	100	達成率	105	達成率
_	活 種苗放流数 動	Νg	実績値					197	197	105	
【事業の成果】			目標値	達用	戓率		達成率		達成率		達成率
の成			実績値								
果			目標値	達用	戓率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値	達用	<b>贞率</b>		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値	達用	<b>贞率</b>		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	定額補助であり、今後とも継続し安定した内水面漁業の振興を図ります。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	事業内容を的確に把握し、今後も助成について取り組んでいきます。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	内水面漁業の振興発展のため、継続して取り組んでいきます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	地元に密着した利便性を考えて取り組んでいくべきと考えます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
ı		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
「田当当平面」		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
西1	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	<b>±</b>	このまま継続します。	目標年度		年度を目安			
	判理断由									
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由	地元漁協に関する	ことなので、	現状どおりが妥当と考えます。						
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
所	判理 断由									
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
【所属長評価】	判理 断由	現在の人員で事業	にあたります	- •						
	すぐに	できる改善提案	定額補助で	あり、今後も継続し、安定した内水面漁業の振興を図る必要があると考えます。						
	目標年	度 年度								
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	安定した内	水面漁業の振興を図るため、継続して取り組む必要があると考えます。						
	目標年	度 年度								

事務事業名	三国	国市場る	かな	祭事業 三	国				事業コード	06030210156
所管部署	地均	或振興:	巣 (三	国支所)		電話	82-8904		記入者名	田島 康亨
事業対象 三国港網本おかみ会・海女さん・甘えびまつり実行委員会										
60 A -1	基本構想 地			想 地域の活力を創造するまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)	
総合計画	基本計画 水産業の振興							事業種別	補助金事業(事業)	
実施主体	その他		実施手段 市が直接実施		市が直接実施	ŧ	委託内容			
根拠法令	無									
根拠例規	無									
関連計画・ マニュアル	無									
		ー れた水産 する経費	物の値	価値を高め、 いて支援し、	市内外にPRするとと 水産振興の推進を図る	もに、ことを	産地の信頼 を目的として	性及び記 交付しま	高付加価値化によ ます。	る販売の優位性を確保するために実施す

9月中旬に三国魚市場において「三国港網本おかみ会・海女さん・三国市場さかな祭」を実施することにより、坂井市で獲れた水産物を市内外にPRするとともに、坂井市水産物の安全性、高付加価値化による販売の優位性を高めることが図れました。

予算	Ĭ	款 農林水産業	書		項	水産業費			目	水産業振	興費		
, ,		490			T		24年度	平成	 23年度			<b>戊22年度</b>	
		報酬	, ,,,,	千円	3		千円			千円			千円
		委託費		千円	3	千円		千円					千円
	事業費	需用費		千円			千円	千円					千円
_	費	役務費	千円		3	千円		千円					千円
ス		その他		210 ∓⊞	3		987 ∓円			千円			千円
۲	人件費	事業費合計		210 千円	3		987 千円			千円			千円
		正職員	0.26 人	1,848 ∓⊞	3	0.11 人	782 千円	人		千円	J		千円
		臨時職員	0.00 人	千円	3	0.00 人	千円	人		千円	J		千円
	賀	人件費合計	0.26 人	1,848 ∓⊞	3	0.11 人	782 千円	人		千円	J		千円
	総事	<b>事業費</b>		2, 058 ∓⊞	3		1, 769 千円			千円			千円
		国県支出金		千円	3		千円			千円			千円
	特	使用料·手数料		千円	3		千円			千円			千円
事 業 費	財	分担金·負担金		千円	3		千円			千円			千円
書	特定財源	地方債		千円	3		千円			千円			千円
^		その他		千円	3		千円			千円			千円
	一般	<b>段財源</b>		2, 058 ∓⊞	3	1, 769 千円		千円					千円
	財源	原合計		2, 058 ∓⊞	3		1, 769 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23年度	平成22年度
	成 参加団体数	団体	目標値	10	達成率	10	達成率	達成率	達成率
	成 参加団体数 果	凹冲	実績値			10	100		
	成来場客数	Y	目標値	3000	達成率	3000	達成率	達成率	達成率
_	成	^	実績値			5000	166. 67		
【事業の成果】	活 メニュー数 動	個	目標値	15	達成率	14	達成率	達成率	達成率
の	動	胆	実績値			14	100		
果			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
_			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						
			目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
			実績値						

	すぐにできる 改善提案	事業規模を縮小し、内容を充実させた開催に対する助成を行います。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	坂井市の水産物の販売が促進され、本市水産振興の水産が図られた。
に対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	開催のあり方、内容、時期等を検討しながら継続が必要と考えます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	他のイベントとのコラボや観光事業との連携も考慮に入れ、水産物のPRの仕方について検討していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	<b>±</b>	このまま継続します。	目標年度		年度を目安			
	判理断由	水産資源の販売お	よび水産振り	側のために必要と考えます。						
		実施主体の方向	<b>句性</b>	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由									
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
所	判理断由	本年度規模を縮小	して実施した	-t-b						
禹 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
【所属長評価】	判理断由	現状の人員で対応	します。							
	すぐに	こできる改善提案	坂井市で獲	れた水産物を市内外にさらにPRすることにより、販売性を高めることが必要と考えます。						
	目標年	度 年度								
中長期的に取り組むべき 坂井市で獲れた水産物を市内外にPRするとともに、坂井市水産物の安全性、高付加価値化による販売の優位性を高めることが必要と考えます。 改善提案										
目標年度 年度										

事務事	事業名	水産	多面的	的機能	発揮対策事	業三国				事業コード	06030	220101	
所管	部署	地域	<b>拔振興</b> 護	巣 (三	国支所)		電話	€ 82-8904		記入者名	田島	康亨	
事業	対象	藻場	の環境	き・生	態系保全を	目的とする団体。							
		基本	構想	地域	の活力を創	削造するまちづくり				事業区分	自治事	幕務 (任意的なもの)	
総合	計画	基本	計画	水産	<b>E業の振興</b>					事業種別	補助金	<b>全事業(事業)</b>	
実施	主体	市		•	実施手段	市が直接実施		委託内容					
根拠	法令	無											
根拠	例規	無											
	計画・ ュアル	無											
	漁業者を防ぐ	エアルレー   漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、海洋環境の変化等に進行している藻場・干潟の減少や機能低 を防ぐことを目的とします。								能低下			
	漁業者を防ぎ	や地域 ます。	域住民な	どが彳	テ <b>う</b> 藻場・干	潟などの保全活動を支	援する	ることにより	り、海洋環	環境の変化等に進	<b>値行して</b>	いる藻場・干潟の減少や機	能低下

予算	拿	款	農林水産業	費			項	水産業費				目	水産業振	興費			
				平	成254	年度		平成:	24年度		平成23年度			平成22年度			
		報酉	Н			<del>1</del> F	9		7	円			千円				千円
		委記	£費			<del>1</del> F	9		7	円			千円				千円
	事業費	需月	用費	164 <del>T</del> P		9	千円			千円						千円	
	費	役剂	务費		千円			千円			千円						千円
ス		その	D他			114 ∓F	9		٦	円			千円				千円
		事業	<b>美費合計</b>			278 <b>∓</b> F	9		7	円			千円				千円
「事業のコスト」	人	正耶	競員	0.48	Į.	3, 412 ∓F	9	人	7	円	人		千円	٨			千円
カー	件費	臨時	寺職員	0.00	Į.	<del>1</del> F	9	人	٦	円	人		千円	٨			千円
ス ト	賀	人化	‡費合計	0.48	Į.	3, 412 ∓F	9	人	=	円	人		千円	ر			千円
	総事	事業費	Ì	3, 690 千円			9		4	円	千円						千円
		国県	是支出金			275 <del>1</del> F	9		7	円			千円				千円
	特定財源	使用	]料·手数料			<del>1</del> F	9		7	円			千円				千円
事	正財	分担	金·負担金			<del>1</del> F	9		4	円			千円				千円
事 業 費	源	地ブ	请			<del>1</del> F	9		- 7	円			千円				千円
		その	D他			<del>1</del> F	9		7	円			千円				千円
	— 舟	<b>殳財</b> 源	Ī			3, <b>4</b> 15 <del>↑</del> F	9	千円				円 千円			千円		
	財派	原合計	†			3, 690 ∓F	9		7	円			千円	·			千円

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24	年度	平成23	3年度	平成22	年度
成	活動団体数	団体	目標値	5 達成	率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
果	活動団体数	四本	実績値			4	100	4	100	4	
活	保全活動回数	回	目標値	達成	率	70	達成率	70	達成率	50	達成率
■動		Ш	実績値			79	112. 86	64	91. 43	70	
			目標値	達成	率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値	達成	率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値	達成	率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値	達成	率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	平成25年度から3ヵ年事業として、現在の4地区に1地区を加えて実施していきます。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	藻場の保全、岩盤清掃、岩起こし、海岸清掃を雄島地区5団体で実施しました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	単年度毎に事業実施内容を検討しながら継続が必要。
取組	目標年度 平成26 年度	
状況】	取組状況	藻場の保全、岩盤清掃、岩起こしを雄島地区5団体で実施します。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
킐	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安					
	判理 断由	漁業者や地域住民	などが行う剤	5場・干潟などの保全活動のため必要と考えます。								
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安					
	判理 断由	水産庁のマニュア	ルに基づいた	事業となるため。								
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安					
所	判理断由	事業実施状況を見	ながら考える	必要があります。								
禹 長		人員投入の方[	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安					
【所属長評価】	判理 断由	現在の人員で事業	にあたります	0								
	すぐに	できる改善提案	藻場・干潟	などの保全活動は今後も必要と考えます。								
	目標年	度 年度										
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	漁業者や地	漁業者や地域住民などが行う藻場・干潟などの保全活動を支援することにより、機能低下を防ぐことが必要と考えられます。								
	目標年	度 年度										

	事務	事業名	観光	<b>尤振興</b> 対	対策事業 3	三国			事業コード	07010400106					
	所管部署 地域振興課(三国支所)								82-8904		記入者名	齊藤 紀之			
	事業	対象	市區	市民制光客制光産業関係者											
	40. A		基本	構想	地域全体	でもて	てなすまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)			
	総合計画 基本計画 観光資源の個性と魅力づくり										事業種別 補助金事業(事業)				
	実施	実施手段   市が直接実施   委託内容													
	根拠	l法令	無												
	根拠	l例規	有	坂井市財	務規則 坂井市	産業経済	F部観光産業課所管補助金等交	付要綱							
		計画・ -ュアル	無												
【事業の概要】	三国地域には、見る、遊ぶ、泊まるの多くの観光資源が点在しています。この貴重な観光資源を活かし、観光客誘致に貢献している団体等を 援することにより観光振興を図ります。														
図体事業補助金 三国サンセットビーチ振興会事業補助金(350千円) 浜地浜茶屋振興会事業補助金(120千円) MPO法人ボランティアガイドきたまえ三国事業補助金(100千円) 一般社団法人三國會所事業補助金(1,800千円) 観光魅力づくり活動支援事業補助金(2,000千円)															

予	算	崇	次 商工費			項	商工費			目	観光振興	費		П
			·	平成	25年度		平成2	4年度	平成	23年度		平成	22年度	
			報酬		<del>f</del> f	9		千円			千円		千	円
	١		委託費	千円		9		千円				千	円	
	事業費	<b>₽</b>	需用費	千円		9		千円				千	円	
_	費	Đ	役務費	千円				千円				ŦI	円	
ス			その他				2, 496 千円 千円					ŦI	円	
			事業費合計		4, 496 ∓⊧	9		2, 496 千円			千円		ŦI	円
「事業のコスト」	人	L	正職員	0.45 人	3, 199 ∓F	9	0.07 人	498 ∓⊞	人		千円	人	ŦI	円
D I	4 費	‡	臨時職員	0.00 人	<del>1</del> F	9	0.00 人	千円	人		千円	人	千日	円
ス ト			人件費合計	0.45 人	3, 199 ∓F	9	0.07 人	498 ∓円	人		千円	人	ŦI	円
1	総	事	業費		7, 695 <del>↑</del> F	9		2, 994 千円			千円		千日	円
			国県支出金		<del>1</del> F	9		千円			千円		千日	円
	特定財源	ŧ .	使用料·手数料		<del>1</del> F	9		千円			千円		ŦI	円
事	財	7	分担金·負担金		<del>1</del> F	9		千円			千円		ŦI	円
事業費	源	į į	地方債		<del>1</del> F	9		千円			千円		ŦI	円
			その他		<b>∓</b> F	9		千円			千円		千	円
	L	般.	財源		7, 695 <b>∓</b> F	9		2, 994 千円			千円		ŦI	円
	財	掠	合計		7, 695 <del>+</del> F	9		2, 994 千円			千円		千日	Ħ

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成観光客入込数(三国地区のみ)	ı	目標値	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率	4000000	達成率
	成 観光客入込数(三国地区のみ) 果	^	実績値	4331394	108. 28	2757888	68. 95	2639085	65. 98	4081994	100.08
	活補助金交付額(合計)	千円	目標値	4496	達成率	2496	達成率	2566	達成率	2566	達成率
_	活 補助金交付額(合計) 動	111	実績値	4496	100	2496	100	2496	97. 27	2566	9. 98
【事業の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の成			実績値								
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	各団体の事業実施状況に応じた対応を図ります。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	事業主体団体のヒアリング
に対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市全体の補助金の見直しの中で適正かどうか検討していきます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	事業内容を精査し、適正化を図ります。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	С	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
1111	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

事業の方向性     このまま継続します。     目標年度     一個       判理	- 年度を目安 年度を目安
断由	- 年度も日史
	- ケー・
	- 年度も日空
実施主体の方向性   現状どおり実施します。   目標年度	- 牛皮で日女
神理     新由	
断由	
コスト投入の方向性 現状を維持します。 目標年度 ー・	- 年度を目安
判理 割理 断由	
断由	
る。 人員投入の方向性 現状を維持します。 日標年度 ────────────────────────────────────	- 年度を目安
新由	
斯由 ————————————————————————————————————	
各団体の事業実施状況に応じた対応を検討します。	
すぐにできる改善提案	
目標年度 年度	
中長期的に取り組むべき横動金見直しの中で適正かどうか検討していきます。	
改善提案	
目標年度 年度	

事務事業	名	三国温泉カニまつり事業 三国								事業コード	07010410111
所管部署	<b>雪</b>	地域	<b>【振興</b> 誤	₹ (三	.国支所)		電話	電話 82-8904		記入者名	齊藤 紀之
事業対象	Ŗ	市内で観光に携わる人、市民。									
60 A -1-		基本	構想	地域	域全体でもてなすまちづくり					事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合計画	囙	基本	計画	観光	と資源の個性	生と魅力づくり				事業種別	補助金事業(事業)
実施主体	<b></b>	その他 実施手段 市が直接実施				市が直接実施	1	委託内容			
根拠法令	È	無									
根拠例規	見	有	坂井市財務規則 坂井市産業経済部観光産業課所管補助金等交付要綱 三国温泉カニまつり実行委員会事業補助金交付要領								
関連計画 マニュア		<b>#</b>									
市月	市民間の交流、リピーター観光客増を目指します。										

「三国温泉カニまつり実行委員会」が実施する、越前ガニ等の販売促進及び観光アピールを目的とした三国温泉カニまつりに対し補助を行ないます。 ・助成額:補助対象事業費の1/2以内で2,700,000円を上限額とします。 事業実績:2,500,000円

予	算	赤	次 商工費				項	商工費			目	観光振興	費		
					平成	25年度		平成24	4年度	平成	23年度		平成	22年度	
			報酬			<del>1</del> P	3		千円			千円			千円
	١.	L	委託費			<del>1</del> P	3				千円			千円	
	事業費	<b>事</b> と	需用費			<del>f</del> P	3		千円					千円	
	費	量	役務費		千円				千円					千円	
コス・		L	その他			2, 500 <del>↑</del> P	3		千円					千円	
₽ ト			事業費合計	ł		2, 500 ∓₽	3		2,600 千円			千円			千円
<b>事</b>	J		正職員		0.37 人	2,630 ∓₽	3	0.19 人	1,351 ∓⊞	人		千円	人		千円
カコ	4 費	<u></u>	臨時職員		0.00 人	₹P	3	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
「事業のコスト】			人件費合計	ŀ	0.37 人	2,630 ∓₽	3	0.19 人	1,351 ∓⊞	人		千円	人		千円
_	総	総事業費				5, 130 <del>↑</del> ₽	3		3, 951 ∓⊞			千円			千円
			国県支出金	È		<del>1</del> P	3		千円					千円	
	特	き	使用料·手数	料		<del>1</del> P	3		千円	千円					千円
事業費	特定販源	<u></u>	分担金·負担	金		±₽	3		千円			千円			千円
書	源	京	地方債			±₽	3		千円			千円			千円
			その他			<b></b> ∓P	3		千円			千円			千円
	Ŀ	般	財源			5, 130 ∓₽	3		3, 951 千円			千円			千円
	財	掠	合計			5, 130 ∓₽	3	_	3, 951 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
П	成 補助額 果	円	目標値	2500000	達成率	2600000	達成率	2700000	達成率	2700000	達成率
	果	П	実績値	2500000	100	2600000	100	2700000	100	2700000	
	舌 来場者数	$\forall$	目標値	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率	30000	達成率
- L	動	^	実績値	20000	66. 67	16000	53. 33	18000	60	35000	116. 67
「事業の成果」			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
D tt			実績値								
Ę			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
П			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	観光PRを目的とした事業ですので、今後も継続していきます。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市の目玉である越前ガニのPR手段の一つとして、重要な位置づけにあるイベントであり、観光と水産が連携して取り組んでいくべき事業と考えます。
取組	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	С	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
価	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

	事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	 年度を目安
判理断由	観光産業の振興を	図れる事業で	であると考えます。		
	実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	 年度を目安
判理断由	三国温泉カニまつ	り実行委員会	会が主体です。		
	コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
判理断由	状況に応じてその	都度検討して	ていきます。		
長	人員投入の方向	<b>句性</b>	現状を維持します。	目標年度	 年度を目安
断由 判理由	三国温泉カニまつ	り実行委員会	会が主体ですが、連携協力していくために現状どおり必要です。		
すぐ	こできる改善提案	観光PRの事	業の一つとして、今後も継続していきます。		
目標年	度 年度				
中長期	的に取り組むべき 改善提案	越前ガニの	PR事業の一つとして、重要なイベントであり今後も継続していく必要があると考えます		
目標年	F度 年度				

事務	事業名	自然	、環境係	全用	地管理事業	三国				事業コード	07010500101
所管	部署	地垣	<b>拔振興</b> 誤	【三	.国支所)		電話	€ 82-8904		記入者名	齊藤 紀之
事業	対象	市民	きおよて	が観光	客						
40. 4		基本	構想	地域	i全体でもて	てなすまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	計画	基本	計画	観光資源の個性と魅力づくり						事業種別	施設管理事業
実施	主体	市			実施手段 市が直接実施 委託内容 <sup>自然環</sup>					全用地整備業務委託	
根拠	法令	無									
根拠	例規	無									
関連マニ	計画・ ュアル	無									
事業の目的・事業の	市が対まる	象となっている。	よる用地の借	を借」							x維持管理を行なうことにより景観保全を
事業の概要等											

予	·算	1	款	商工費				項	商工費				目	観光施設	費		
						平成2	25年度		平	成244	年度	平原	丸23年度	Ę	平成	22年度	
			報酉	Н			<del>1</del> 1	9			千円			千円			千円
		. [	委記	£費			5, 152 <del>+</del> ।	9	5, 149 千円					千円			千円
	=	事業費	需月	用費			千	9	千円			千円					千円
	1	費	役剂	务費			千	7	千円			千円					千円
コス・			その	D他		6, 225 千円		7	6, 225 千円			千円					千円
۱,			事業費合	<b>美費合計</b>			11, 377 <del>+</del> ı	9			11, 374 千円			千円			千円
		싰	正耶	戦員	0. 2	29 人	2, 062 ∓।	7	0. 24	人	1,706 千円	ر		千円	人		千円
)	- 1	件	臨	寺職員	0. (	00 人	千日	7	0.00	人	千円	ر		千円	人		千円
		費	人化	‡費合計	0. 2	29 人	2, 062 ∓।	9	0. 24	人	1,706 千円	ر		千円	人		千円
1	糸	総事	業費	Ì			13, 439 ∓।	7			13,080 千円			千円			千円
			国県	是支出金			千日	9	千円			千円					千円
	4	持	使用	]料·手数料			千日	9			千円			千円			千円
事		持定財源	分担	金·負担金			千日	7			千円			千円			千円
事業費		源	地ブ	请			千日	7			千円			千円			千円
	Ĺ		その	D他			千	9			千円			千円			千円
	Ŀ	一般財源		Ī			13, 439 ∓⊩	7	13, 080 千円			千円					千円
	貝	財源合計				13, 439 ∓।	<del>ŋ</del>			13, 080 千円			千円			千円	

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
成	維持管理している保全用地の面積	m <sup>*</sup>	目標値	102325	達成率	102325	達成率	102325	達成率	102325	達成率
果		111	実績値	102325	100	102325	100	102325	100	102325	130. 59
成			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
成果			実績値								
活	保全用地の維持管理回数		目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率	2	達成率
活動	保全用地の維持管理回数	Ш	実績値	2	100	2	100	2	100	2	100
活動			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
動			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理を行います。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	自然環境用地の草刈、投棄ゴミの回収を行いました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	越前加賀海岸国定公園に指定されている区域の優れた自然景観を保全するために、除草・清掃管理に努め、優れた自然景観を創造する努力をしていきます。
る取組状況】	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	他の事業と連携して、越前加賀海岸国定公園の美しい自然環境が損なわれないよう事業展開を図っていきます。

	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力 (民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
Г	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっています か?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由	国定公園の海岸線	において自然	<b>環境を保全するために必要と考えます。</b>						
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由	他の事業と連携し	ていくために	こ、現状どおりと考えます。						
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
所	判理断由	自然環境を保全す	るために必要	きと考えます。						
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
【所属長評価】	判理 断由	現在の人員で事業	D人員で事業にあたります。							
	すぐに	できる改善提案	国定公園の	海岸線において自然環境を保全するために、除草・清掃管理を行います。						
	目標年	度 年度								
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	国定公園の	海岸線において自然環境を保全するために、維持管理が必要と考えます。						
	目標年	度 年度								

事務	事業名	海洱	自然化	園維	持管理事業	三国				事業コード	07010510131
所管	部署	地垣	<b>拔振興</b> 誤	人(三	.国支所)		電話	图2-8904		記入者名	齊藤 紀之
事業	対象	市民	見及び観	光客	!						
		基本	構想	地域	(全体でもで	こなすまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	·計画	基本	基本計画 観光のネットワーク化							事業種別	施設管理事業
実施	主体	市			実施手段	市が直接実施		委託内容	清掃管理委	託	
根拠	法令	無									
根拠	例規	無									
関連マニ	計画・ ·ュアル	無									
事業の目的・事業の概要等			園維持管			、常に市民及び観光客	が快 <del>)</del>	適で安全に利	川用できる	5観光施設を維持	特管理します。

予算	草	款	商工費			項	商工費			目	観光施設	費			ı
				平成	25年度		平成2	!4年度	平成2	23年度	Ę	平成	22年度		
		4	<b>设型</b>		千日	9		千円			千円			千円	
	١	1	委託費		8, 340 ∓r	9		9, 052 千円			千円			千円	
	事業費	5	需用費		2, 214 ∓₁	9		2, 350 千円			千円			千円	
	費	í	<b>没務費</b>		257 ∓⊩	9		257 千円			千円			千円	
ス			その他		2, 201 ∓⊧	9		1, 103 千円			千円			千円	
- F		-	事業費合計		13, 012 ∓r	9		12, 762 千円			千円			千円	
「事業のコスト」	人	نا	E職員	0.48 人	3, 412 ∓⊩	9	0.43 人	3,057 千円	人		千円	人		千円	
D I	件	- 1	<b>临時職員</b>	0.00 人	Ŧſ	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円	ı
ス ト	費		人件費合計	0.48 人	3, 412 ∓⊩	9	0.43 人	3,057 千円	,		千円	人		千円	ı
1	総	事美	<b>美</b> 費		16, 424 ∓F	9		15, 819 千円			千円			千円	ı
			国県支出金		Ŧſ	9		千円			千円			千円	
	特定財源	1	使用料·手数料		2, 989 ∓r	9		2, 919 千円			千円			千円	
事	上財	3	分担金·負担金		ŦF	9		千円			千円			千円	
事業費	源	ţ	也方債		ŦF	9		千円			千円			千円	ı
1		-	その他		ŦF	9		1 千円			千円			千円	ı
	<b>—</b> Я	般貝	才源		13, 435 ∓⊧	9		12,899 千円			千円			千円	
	財	源台	計		16, 424 ∓F	9		15,819 千円			千円			千円	

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	l年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成海浜自然公園の入込み数	ı	目標値	23000	達成率	23000	達成率	23000	達成率	23000	達成率
	成 海浜自然公園の入込み数 果	^	実績値	23759	103. 3	22520	97. 91	24242	105.4	24769	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
【事業の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
カ			実績値								
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	市民および観光客が快適で安全に利用できる維持管理が必要。
前	目標年度 未設定 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	県自然環境課等と連携し、国庫補助金等の対象を検討します。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	県内に入り込む観光客の4割が本市を訪れています。経済効果なども考慮し、リピーターの増加などを考えた場合、良い印象をもってもらうよう努力が必要となります。 既存施設の維持管理、清掃などは不可欠であり、最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努めていく必要があります。
取組	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	施設の巡回・点検等を行い、なるべく早い対応を行うよう努力します。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	В	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	
		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
1	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	<b>±</b>	このまま継続します。	目標年度		年度を目安					
	判理断由	公園が快適に利用	できるように	ように維持管理を実施していきます。								
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安					
	判理 断由											
		コスト投入の方向	性	事業費の増加を検討します。		年度を目安						
所	判理断由	施設の老朽化が進	んでいるため	が必要な修繕工事を実施していきます。								
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安					
【所属長評価】	判理断由	現在の人員で対応するように努力します。										
	すぐに	こできる改善提案	公園が快適	に利用できるように維持管理が必要と考えます。								
	目標年	度 年度										
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	公園施設が	快適に利用できるように維持管理は必要であり、今後も継続して実施ていくことが必要と考えます。								
	目標年	標年度 — 年度										

事務	事業名	三国	サンセ	ヹット	ビーチ駐車	国場管理事業 三国	I			事業コード	07010510136
所管	部署	地垣	<b>【振興</b> 謂	<b>₹</b> (Ξ	国支所)		電話	82-8904		記入者名	齊藤 紀之
事業	対象	市民	そ及び勧	光客							
		基本	構想	地域	は全体でもて	てなすまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	計画	基本	計画	観光	観光のネットワーク化					事業種別	施設管理事業
実施	主体	市			実施手段	市が直接実施	1	委託内容	管理委託		
根拠	法令	無									
根拠	:例規	無									
	計画・	無									
事業の目的					■とでぶ頭に	:、常に市民及び観光報	<b>各が1大地</b>	型で女王に介	л <b>н</b> се «	) 転光元 加品文 で 本任か	<b>行官理しまり。</b>
的・事業の概要等											

	予算	Ĭ	款  商工費		)	項 商工費			目	観光施設	費		
				平成25	5年度	平成:	24年度	平成	23年度		平成	22年度	
			報酬		千円		千円			千円			千円
			委託費		2, 370 千円		2, 427 千円			千円			千円
		事業費	需用費		千円		千円			千円			千円
	⊐	費	役務費		千円		千円					千円	
	ス		その他		千円			千円				千円	
Ŧ	۲		事業費合計		2, 370 千円		2, 427 千円			千円			千円
【事業のコスト】		人	正職員	0.52 人	3,697 千円	0.07 人	498 ∓⊞	人		千円	人		千円
のコ		件	臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
スト		費	人件費合計	0.52 人	3,697 千円	0.07 人	498 千円	人		千円	人		千円
		総事	業費		6, 067 千円		2, 925 千円			千円			千円
			国県支出金		千円		千円			千円			千円
		特中	使用料·手数料		2, 370 千円		2, 427 千円			千円			千円
	事業	特定財源	分担金·負担金		千円		千円			千円			千円
	事業費	源	地方債		千円		千円			千円			千円
			その他		千円		千円			千円			千円
		一般	段財源		3, 697 千円		498 千円	千円					千円
		財源	合計		6, 067 千円		2, 925 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	<b> </b> 年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成駐車場の駐車料金	Э	目標値	3250000	達成率	3505000	達成率	3510000	達成率	3670000	達成率
	成 駐車場の駐車料金 果	円	実績値	3245500	99. 86	3333500	95. 11	3120500	88. 9	3741000	101. 93
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
【事業の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の			実績値								
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	25年度にリニューアルオープンすることにより、より観光客等が快適で安全に利用できるよう努めます。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に	取組状況	県予算によりリニューアル改修を行っているが、市も必要に応じて維持管理の予算措置が必要になっている。こうした中、施設の巡回・点検を行い、利用客の苦情が出な いよう早期の対応を行っている。
対 す	中長期的に取り組むべき 改善提案	市民、団体等と協力しながら、維持管理等を推進する必要があると考えます。
る取組状況】	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	駐車場及び周辺施設の美化を図り、利用客へのイメージダウンを防ぐとともに、観光客の誘致を図っていきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
<b>1</b>	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由	観光客等の誘致の	ためにも、馬	主車場の美化を図るなど管理が必要と考えます。						
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度		年度を目安			
	判理 断由	国・県・地元と連	携しながらず	5が主体となっていくのが望ましいと考えます。						
		コスト投入の方向	1性	事業費の増加を検討します。	平成27	年度を目安				
所	判理断由	ロー・フェークロン 用ムンナ・体神がなたようでも フォルダナ体 神事とれてナジャルネニナナ								
馬長		人員投入の方[	句性	現状を維持します。	目標年度		年度を目安			
【所属長評価】	判理 断由	理 由 は 現在の人員で努力します。								
	すぐに	できる改善提案	観光客等が	快適に利用できるように努めていきたいと考えます。						
	目標年	度 年度								
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	市民・団体	等と連携協力しながら、維持管理等推進する必要があると考えます。						
	目標年	度 年度								